



ワーレン系の初生ひな輸送車

内部にクーラーがあり、ひなのむれを防いでくれている。(沢本氏の倉庫前にて)

フランチャイズ・システム

現在、種鶏の配布、ひなの配給等はすべてフランチャイズ・システムになっている。ボリビア国の採卵鶏は、シェーパー565系(カナダ)とワーレン系(アメリカ)の2社の系統のフランチャイズである。

従って、この2つの孵化場はこの系統の褐色鶏のボリビア国における独占販売数があたえられている。

数年前、サンファン移住地農協がサンファン種鶏場を作ろうとして、ボリビア国採卵協会から強い反対をうけ、断念したという経緯があったが、この辺の事情から出たものと思う。

近く、Avicola BolivianaはフランスのISA-Brown系のひなの販売権利をもちたい計画をもっているようであるが、おそらくカナダのシェーパー系の親会社は反対し、もし、ISA-Brownに踏み切るなら、シェーパー系の種鶏の配給を停止するであろう。

このフランチャイズ・システムをサンファンの農協が十分に勉強し検討するならば、サンファン移住地に種鶏をおき採卵をやる機会は未だ十分にある。

コチャバンバの養鶏

2月29日、3月1日、Dr. Gararellio miguel (万国家きん学会会員で、予めコチャバ

ンバの養鶏を見せて貰うようアポイントをとっていた。)の世話で、コチャバンバのブロイラー飼育場、採卵養鶏場及び州立家きん研究所を訪問した。

コチャバンバ州の養鶏は、現在採卵鶏 240,000 羽、ブロイラー 450,000 羽である。

採卵養鶏家は 2 年程前までは、約 60 名ほどいたが激しいインフレーション下の物価高と飼料高におされ、現在 20 名になった。ブロイラーにしても、750,000 羽の収容能力があるにも拘わらず、約 $\frac{1}{3}$ が脱落して行った。

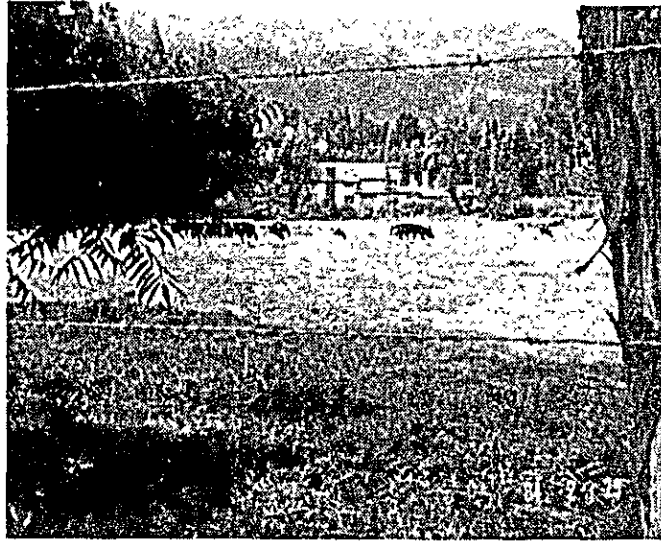
しかし、採卵養鶏場は次第に大規模化し、省力的飼養管理が行われ、すべてがケージ飼育である。ブロイラーは 10,000 ~ 20,000 羽の農場が多く、施設も近代化している。

サンファン移住地から僅か 500 km たらずのところ標高 2,000 m で気候温暖で、野菜、花卉、牧草等が見事にとれるこのコチャバンバの養鶏は、サンタクルス州の手本になるところである。

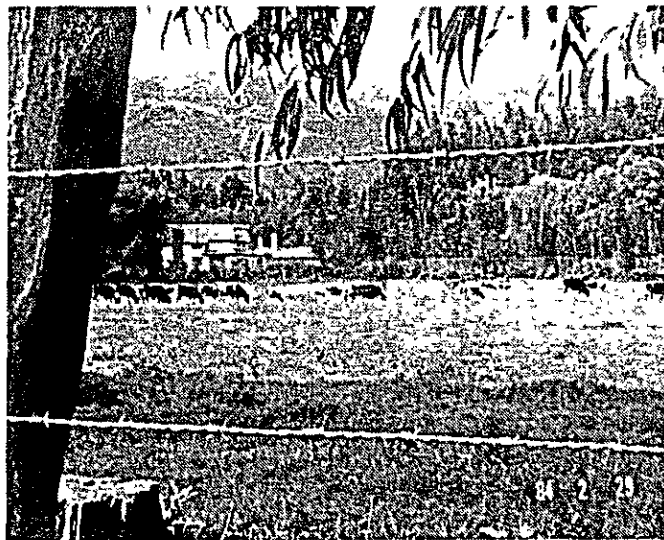
サンファン移住地養鶏も近いうちにも大きくなり、省力化のためにケージ飼育が普及する日が来るであろう。サンファン移住地養鶏家は暇があったら、是非コチャバンバの養鶏を見て自分の参考にして貰いたいと思う。

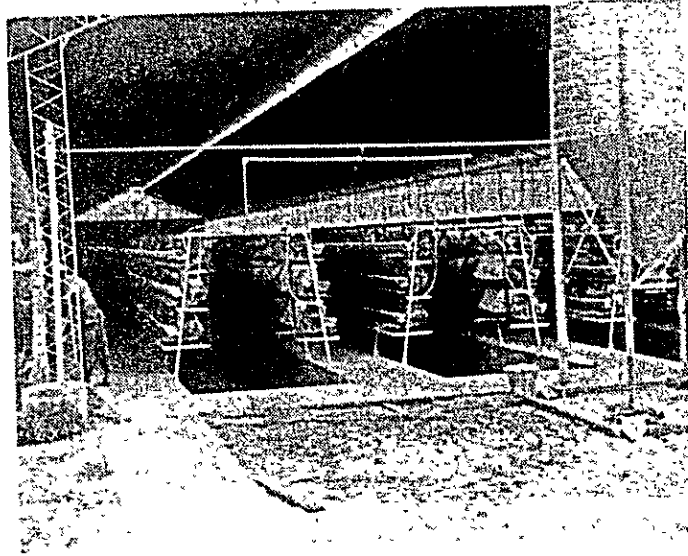
Dr. Miguel がコチャバンバで指導している消毒方法の 1 つに石灰の利用があるが、これによりコクシジウム病の予防に効果をあげているという。(この方法はオランダの家きん研究所 Dr. Uoetern の説を実用化したもの)。

石灰 150 kg / 5,000 羽 (17 羽 / m²) / 鶏舎で、水 500 l にとかし散布している。この方法は、後日、サンファレ農協の幹部の集会があったときに、実施方法を説明し、サンファレ養鶏においても早速実用化するよう指導した。



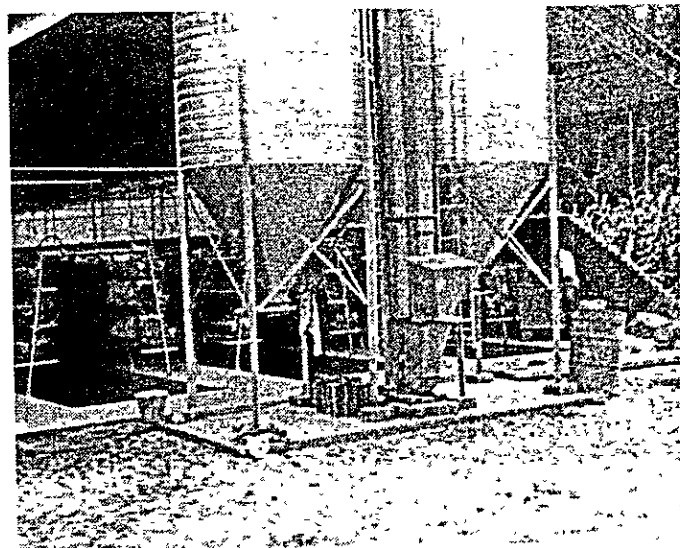
見事な牧草（アルファルファ）と乳牛の放牧





シェーパーの採卵養鶏場

10000羽



コチャバンバ州立鶏病研究所

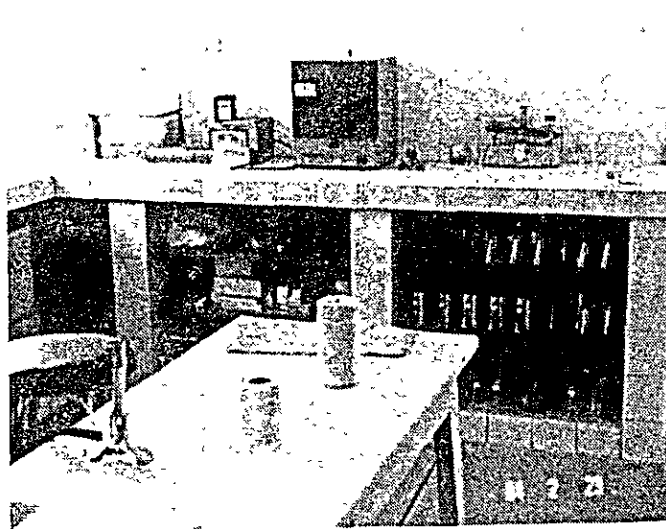
F.A.Oの協力により1981年に完成

建 物 150㎡

職 員 4名(中1名女子)

施設は、サンファン移住地の鶏病予防センターの構想と全く同じである。

しかし、2年間何もしない様子が、棚にのっている培地などが封を切られていないところから伺われた。



ラバスの鶏卵倉庫

ラバスは標高 3,700 m で人口約 70 万、平均気温 11.6°C で天然の冷蔵庫という感である。

3 月 1 日夕方、ラバス空港に到着時、丁度サンタクルスからの食卵空輸第 2 便が到着し、荷おろし作業中であつた。

2 月中旬からの輸送トラック業者のストライキのためにサンファン移住地の鶏卵はたまる一方で、農協はこの滞貨一掃のために航空便でラバスに輸送することを計画し、2 月 29 日に第一便 20 万個、第 2 便で 60 万個を輸送した。

3 月 2 日、ラバスにあるサンファン移住地農協支所には鶏卵販売業者が数十人も集まっていた。大口販売業者は事務所内に、小口販売業者は事務所の外にならんでいた。

値段は

	大口販売業者	小口販売業者
大	87 ペソ	90 ペソ
中	84	87
小	81	84

ちなみに輸送費は 22 ペソ / 1 個である。トラック便では 8 ペソ / 1 個である。しかし、3 月下旬になり、ラバス向けの輸送費は次の様に改正された。

	従 来	改正後
航 空 便	22 ペソ / 個	12 ペソ / 個
トラック便	8 ペソ / 個	14 ペソ / 個

航空便が安くなったのは、おそらく帰り便にビール（ラバスのビールはポリビアでは高級品）を積むことになったからかも知れない。

航空便で輸送された 80 万個は倉庫に収容された時、腐敗臭がにおっていたが、支所で数個割卵してみた卵は Grade C であつた。

Grade C



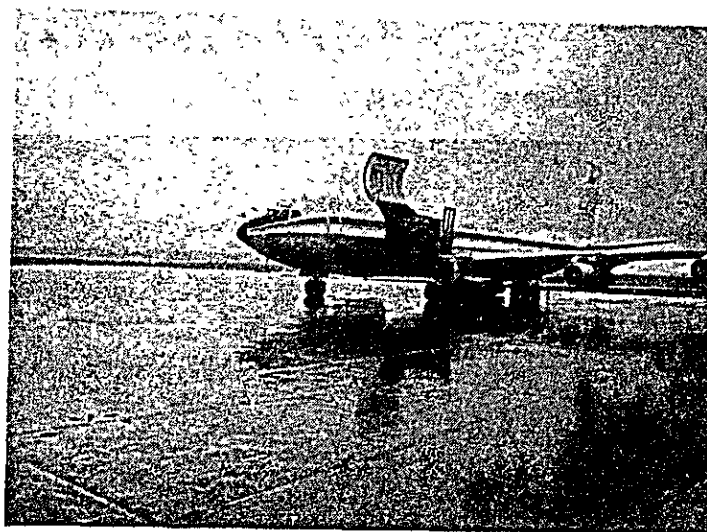
新鮮な卵 (Grade A)



この 80 万個の卵は 2 日間で全部売れたとの事である。

オキナワ移住地訪問記

3 月 16 日、日帰りでオキナワ移住地を訪問。ヌエバ・エスベランサ畜産試験農場で永野場長からオキナワ移住地の概略を聞き 2 農家を訪問す。



ラパス空港に空輸された食卵



ラパスにあるサンファレ農協食卵倉庫



大口卵仲買人



小口卵仲買人と空港から運ばれて来た食卵

かつてはこの移住地も30万羽近くの養鶏で賑っていたそうであるが、数年前からニューカッスル病、鶏チフスの発生に見舞われ、現在は僅かに3万羽程度という。如何にニューカッスル病はおそろしいものか改めて戦慄をおぼえる。

このために養鶏組合も自然解消し、養鶏家は飼料の購入、食卵の販売も個人個人が行い、近くのモンテローが手取り早い市場であるとの事、食卵は1週に1回販売のためトラックにつんで出かけ、帰りに飼料を積んで帰るという経営である。

卵価は80ペソとの事であるが、諸経費、時間の消費など小羽数ではなかなか採算はとれないとの事で、サンファン移住地とは大分様子が違っている。廃鶏も15箇月齢で出荷しているが2,500ペソ/羽でサンファン移住地より300ペソも安い。

組合組織がないために各自が全く自衛防疫の形で衛生対策をたてているようであるが、ワクチンの入手が困難で、ワクチネーションもくるいがちという。

オキナワ移住地は既に数年前から鶏伝染性気管支炎のワクチネーションをやっていると聞いて驚いたが、いずれサンファン移住地にも本病のウイルスが流れこんでくる予感がした。しかし、本病のワクチンが手に入らず困っているとの事である。動物薬商は近くのモンテローからよく来る様子で、養鶏農家の無知につけこんで無暗矢驪に薬を高値で買わされている。

たった2軒の農家しか訪問できず、調査も不十分であったが、サンファン移住地とあまりにも境遇のちがいにあわれさを感じた。

サンファン移住地から僅か100kmしか離れていない場所に、同じ日本人が移住しておりながら何故こんなにも違いがでるのだろうか。単にニューカッスル病、鶏チフスの発生のみ原因をしぼれない背景があるように感ぜられた。

聞けばオキナワ移住地には沢山の技術者と資金の援助が今もなされているという。しかし、途中に見る風景の中で現住民の牧場とオキナワの牧場の間に牧草の育ち方に大きな違いがあるのに気づく。30年の歴史をもつ移住地の営農にも大きな様変わりがあり大きな収入源だった綿栽培が天候の変化のため駄目になり、大きな製綿工場も今は廃墟となっている。

市街地も活気に乏しく、昼間から仕事もせずのんびりとしている人達が目立った。

各種疾病の防疫対策（案）

鶏チフス、鶏コクシジウム病及びまん性呼吸器病の防疫対策については、地区検討会でも十分に説明してきたが、こゝに一応（案）としてまとめてみた。

この案は多くの人達からの検討を求めねばならないものとするが、応急の策として、サンファン移住地の養鶏農家のために草案したものであることをつけ加える。

鶏チフス発生予防対策（案）

1) 記録の整備：殆どどの養鶏農家が管理日誌をつけていないので、鶏群の経歴（現在羽数、死亡淘汰羽数、治療、ワクチネーション、飼料摂取等）を知ることができない。

管理日誌を養鶏農家が積極的に記入するよう指導してゆかねばならない。

2) 鶏舎、特に床面のへドロ化防止：鶏チフスの発生は雨期に発生するといわれていたが、今回の調査において雨期というよりも、はげしい雨の降ったあと鶏舎内に水が入り、床面がへドロ化し、その中に鶏が入り泥をついたり、一方ホッパーの中の飼料がぬれたり、湿ってきた時、数日後に発病している。

従って、床面は軒下1m先までセメント張りにし、水トイの下及び軒下の排水をよくするために側溝をつくる必要がある。煉瓦張りの床面は入すう前の消毒時に石灰乳を十分しみこませる必要がある。

また、湿地帯の多いサンファン移住地での鶏舎は1m位のカサアゲの必要がある。

3) 給飼器、給水器（トイ）の清掃：給飼器は、中ひなになった頃（50～60日齢）から廃鶏処理（15～16箇月）されるまで約1年以上の間、一回も手入れがなされていない。

雨期は湿度100%となる日が多い。給飼器の内面はカビが生えたり、側壁に飼料が層をなしてくっつき、時にホッパーの中の飼料がパンケーキ状になっている事がある。これは鶏チフスのみならずmycosis（カビ性肺炎、カビ性腸炎）、アデノウイルス性疾患（産卵低下症候群）を誘発させる。

給水器は殆どが鶏舎の側壁の下部、床面から30cm程の高さのところに水トイ式にしたものが多い。ポリエチレン製の雨ドイ又は円管（半分に切ったもの）の利用、セメント張りものなどがあるが、中には四角のポリ容器を半分に切り床面にちかにおいている農家もあった。

ア) 給水器は少なくとも1日2回（朝と夕）は清掃すべきである。一般的に敷わら（サンファン移住地にはモミガラが沢山あり、大いにこれを利用すべきだが）が非常に少ないので、ホコリが非常に多い。このために水トイはたえずホコリでよごれている。

イ) 殆どどの養鶏農家において栄養剤の投与が行われているが、この栄養剤の投与回数が非常に多く、水トイはヌルヌルし、水ゴケがつき易い。黒いのり、青いのりがついたまゝのと

ころを多く見つけたが、木布、ズボンチなどで栄養剤の飲水投与の前後は清掃すべきである。

ウ) 水トイの高さはどの農家も低い。鶏の肩の高さでなければならぬ。鶏は水を口にくわえたら頭を上にあげないと咽喉を通らない、水トイが低いために鶏は水を床面にこぼしている。水トイの高さがひくいために、鶏舎内1 m 巾のところの鶏糞は非常に湿っているため、絶えずとり除くよう心掛けるべきである。

4. 飼料へのニトロフランの添加

サルモネラ病に最も効果があるといわれているニトロフラン（フラゾリゾン）を農協飼料には添加する必要がある。

ア) 予 防 量 0.0 2 % 添加

イ) 治 療 量 0.0 4 % 添加

鶏チフスの症状の出た鶏群及び急速凝集反応で陽性（ワクチン抗体でないもの）反応群には廃鶏淘汰をすゝめるが、その間にこの量を添加した飼料を給飼すること。

5. カナマイシンの筋肉注射

鶏チフスの発症鶏には直ちにカナマイシンの筋肉注射を行うこと。

カナマイシン筋注は、あくまでも症状を軽減するためのもので、症状の消失した病鶏は保菌鶏として残ることに留意し、早い機会に発症鶏群を淘汰すること。

6. 急速凝集反応の実施

ア) 60日齢以上の鶏については、3箇月に1回は必ず鶏群の $\frac{1}{3}$ の鶏を無作為にとり出し、ひな白痢診断液を用いて急速凝集反応を行うこと。

イ) 陽性反応がワクチネーションによるものか感染によるものか判明しない場合は、寒天培養を行い、病性を決定すること。

7. 鶏チフスの適切なワクチネーション・プログラムの設定

サンファン移住地の養鶏農家が使用しているワクチンは、ブラジルの日系生物学研究所で製造された三種混合不活化ワクチンで、大腿部筋肉内10ml注射のものである。ブラジルでは数年前までは公式にこの種のワクチンは製造されていたが、現在は未公認のワクチンである。ワクチンの内容は不明であるが、三種とはSalmonella Pullorum, S. Gallinarum及びS. Typhimuriumであろうと農協関係者の話から推測される。

このワクチン製造所は、農協及びサンファン移住地の養鶏指導を永年やって来られた山本氏の特別の依頼によるもので、農協職員が年に3-4回、ボリビア国の了解をえた上で、ブラジルにとりに行っている。

ワクチン製造担当者といわれる成田氏（東京農工大卒）の言として農協担当者から聞いたところによると、このワクチン投与後6箇月は感染防禦の効果があるということであるが、今回の調査で判明したことは、このワクチン投与後、60-80%の抗体保有率は約2箇月であった。

農林水産省家畜衛生試験場の佐藤静夫技官（わが国サルモネラの権威者）から載いた手紙によるとサルモネラに対する死菌ワクチンは殆んど効果がないというのが細菌学関係学者の意見との事であるが、今回の調査において、従来のようにこのワクチンの効能を過信することは危険であると感じた。しかし、過去数年間、このワクチンは鶏チフスの防遏に貢献したことは事実であろう。近い将来、このワクチンの攻撃試験を是非行い、どの程度の防禦率があるのか確認する必要がある。

鶏チフスの発症日齢が初産後数箇月間（150～200日齢）であることから、この期間は高い免疫抗体を保持してゆく必要がある。

従って、ワクチン製造者が推奨していた115日齢頃に第一回目のワクチネーションを行うのは適切であろう。丁度、この時期は卵巣の急激な成長をなす直前であり、ストレスも少ない頃といえる。

第二回は補強注射の意味を十分に含んでいるので、初産後で第一回摂取から60日以内に行うべきであろう。

過去数年間行われて来たワクチネーションを聞いて見ると、中には随分間違ったやり方をしている養鶏農家があり、注意をあたえた。

8. ワクチネーション

ア) ワクチンの保管：冷暗所に保管ということで、戸棚、ベッドの下に殆んど養鶏農家がおいていた。暑くて湿度の高いサンファン移住地では冷暗所とは冷蔵庫しかないと理解しているが、他のワクチンにしても2℃～6℃に保管することすら知らない農家もあった。なお、冷蔵庫の下部も子供のいる家では、冷蔵庫の開閉の回数も多いので、発泡スチロールのような断熱材にくるんで保管するよう指導した。

イ) 単一ワクチネーション：鶏チフスのワクチネーションのときに、アデノウイルスワクチン（産卵低下症候群）のワクチンと同時に、或いは混合して注射した農家があったが、同時接種はストレスをあたえるし、混合注射はワクチン効果を減退するものであるので、単一ワクチネーションに徹するよう指示した。

ウ) カナマイシンとの同時注射の禁止：鶏チフスの症状をおさえるためには、カナマイシンの筋注が最も効果があったことは前述の通りであるが、感染予防のためのワクチンとの同時注射は全く意味のないことを説明し、今後行わないよう注意をうながす。

エ) 注射針のとりかえ：ワクチネーションには連続注射器が使われているが、注射針一本でワクチネーションをすませていたので、接種感染、病原体の侵入防止のため、更には注射針が切れなくなるためにおこる皮膜損傷等を防止するために10羽に1本とりかえるよう指示した。

9. 保菌鶏の処理

カナマイシンの筋肉注射によって症状の消失又は軽減した病鶏は、保菌鶏となり、いつでも再

発症の危険性をもっていると同時に他群への伝播の機会をあたえている。今回の調査でわかったことは、鶏チフスの発症時にカナマイシン筋肉注射を行い、死亡をくい止め、直ちに廃鶏として処分した農家はその後発生を殆んど見ていない。公衆衛生上、許されることではないが、廃鶏も高くなりうることもあるので、一刻も早く処分すべきである。

10. 鶏舎の消毒、使用停止：

ア) 発生鶏舎はすべての鶏を処分したのち、直ちに鶏糞をとり出し、鶏舎より離れた場所で堆肥にするか、畑地、果樹地に運び出すこと。

イ) 鶏舎内の給飼器、巣箱等は全部鶏舎外に運び出し、水洗、消毒、日乾後、汚染を防ぐためにビニールで覆いをすること。

ロ) 鶏舎内の消毒は通常の清掃、水洗、消毒ののち、500㎡に対し石灰50kgを500ℓの水にとかし散布すること。

エ) 床面、側面が煉瓦のところはガスバーナーで焼くこと。

オ) 次の入すう又は大びなをいれる場合は6箇月間あけたのちに行うこと。この間に土間ができるならセメント張りにすること。なお、この間にも2～3回の消毒を行うこと。

11. やむをえず保菌鶏を経統飼育する場合：

人の伝染病の隔離病棟に出入することを頭に浮かべて行動するようにし、特に下記に留意すること。

ア) 鶏舎内に入る時の作業衣、靴は別個にすること。

イ) 鶏舎内外は絶えず消毒し、また出入後は必ず手指、身体、集卵かご等を消毒すること。

ウ) 鶏舎内外の水たまり、湿ったところをなくすること。

エ) 集卵かごは、他の鶏舎のものと区別し(色別)、集卵の都度消毒し日乾すること。

オ) 集卵は他の鶏舎を先にし、発生鶏舎を一番あとにすること。

カ) 飼料中に0.04%のフラゾリゾンを追加したものを与えること。

キ) 管理者以外の者及び犬を近づけないこと。

ク) ねずみの駆除を行うこと。

12. 食卵廃鶏の仲介者を鶏舎に近づけないこと：

汚卵、破卵、規格外卵を買うために、又は廃鶏、淘汰鶏の集荷のために移住地内を多くの現地人が歩きまわっているが、これらの者は絶対に選卵場、鶏舎に近づけないこと。取引は玄関前にて行うようにすること。

13. 飼料運搬車：

ア) 飼料運搬のために農協、民間飼料会社の飼料運搬車が農家にゆくが、農家によっては運搬車を鶏舎の近くまでゆかせる所、添乗者に飼料を鶏舎内に運ばせる所、時には給飼器の中に入れさせる農家も見られるが、鶏伝染病汚染防止の上から絶対に鶏舎に近づけないこと。

選卵場の近くに飼料置場をつくる必要あり。

イ) 農協は毎日、飼料工場から飼料運搬車が出かけて行ったり、帰って来た時に必ず噴霧消毒を行うように努めること。

14. ねずみの駆除

今回のきょとり調査で知りえた事の1つに鶏チフスの発生にねずみが大いに影響をあたえていたかも知れないということである。鶏チフスの実態がわからないまゝに今日まできているが、鶏チフスはねずみ菌によるものもあるのではないかという感触は最初からもっていたが、鶏チフスの流行した昨年、一昨年にねずみも非常に多かったが、最近は非常に少なくなっている事である。

ねずみ発生の最近の様子をきょとり調査からまとめてみると、

沢山いる。	24.2%
従来よりふえている。	3.2
いる。	6.5
少なくなった。	35.5
いない。	30.6

これを見る限り、66%近くは少なくなっている様であるが、全般的に見て未だ危険性をはらんでいるので、ねずみ駆除は積極的に行うべきである。しかし、特別にねずみ駆除もしていないのに、何故減ったのか全然わからない。

ねずみ問題は鶏チフスの発生誘因のみならず、夜間ねずみが鶏舎に出没することによって大量の飼料が食い荒され、また夜間の出没によりひなを驚かし、圧死させる事例が数々あることも考慮すべきである。

コクシジウム病対策(案)

サンタクルス州農牧省畜産局長は、現下のサンタクルス州での鶏病の問題点の1つにコクシジウム病をあげているが、サンファン移住地においても、これからは鶏チフスにかわって鶏チフスにかわって鶏コクシジウム病の被害が次第に大きくなって来ているようである。

その原因として

- 1) サンファン移住地養鶏は平飼いである。
- 2) 飼料添加物の中に良い抗コクシジウム剤の添加がない。

従来、アンブロールが使われていたが、農協飼料工場の発注先であるサンタクルスの薬問屋がドル不足のためアンブロールを外国からかえず、在庫の多いサイコスタットを使っている。日本では、サイコスタットは6年前から抗コクシジウム剤としては効果なしとして市場から消えた薬である。目下、アンブロールの製造元(アメリカに本社のあるメルク・シャープアン

ドドーム社)に、早急にサンファン移住地農協と交渉するよう連絡中である。

3) 鶏舎消毒が不十分である。

鶏のコクシジウム病は床面の土、鶏糞をついばむことにより、鶏コクシジウム病の原虫オーシストが腸管内に入り、発病するものである。しかも鶏コクシジウム病の発生は幼すう、中すう時代の発生が多い。このことは鶏舎消毒の不十分を伺がわせる。(49頁参照)

4) 現在、世界の鶏コクシジウム病の大部分は、*E. acervulina* (まん性型)であるが、サンファン移住地の場合は急性型 (*E. tenella*)のようである。薬の選択を誤って大きな被害をうけた農家もある。

以上の事から鶏コクシジウム病の予防対策として次の事をとりあげなければならない。

1) 幼すう、中すう、大すう用飼料に、飼料添加物として飼料1t中にアンブロリウム60g、エトバベート3.8gを添加すること。

2) 鶏舎の消毒は、通常の消毒の他に床面500m²に対し、50kgの石灰を500ℓの水にとかし散布すること。

3) 鶏コクシジウム病の発生は、発生農家により発生日が大体決っている傾向がある。従って発生予想5日前から抗コクシジウム剤を投与する必要がある。

4) 抗コクシジウム剤の選択は、オーシストの検査により決定しなければならないが、当分の間(鶏病予防センターの開設まで)は、従来の薬アグリボン又はダイメトンを使用すること。

5) 大すうになるまでの間、毎月1回鶏舎内のオーシストの検査を行い、投薬の指示を行うこと。

6) 育すう舎、成鶏舎の区別をはっきりとし、大ひなまで育すう舎で飼育すること。

まん性呼吸器病防遏対策(案)

今回のMG (*Mycoplasma Gallisepticum*)及びMS (*Mycoplasma Sinoviae*)の急速凝集反応の結果は、MG50%、MS43%の陽性反応があったことは、サンファン移住地にも、まん性呼吸器病の病原体が相当深く侵入していることを伺わせた。

しかし、養鶏農家の呼吸器病に対する認識は全くない。未だMG、MSに起因する呼吸器症候群はあまり見られていないが、MG、MSが侵入している以上、今のうちからまん性呼吸器病予防に対する認識を高める必要がある。(47頁参照)

1) MG、MS急速凝集反応の実施

鶏チフスの急速凝集反応時に併行して行い、陽性鶏は直ちに淘汰する。

2) Tylan又はTiamulinの投与

MG、MSの急速凝集反応陽性群のた農家では、MG、MSの病原菌が他群にも伝播している可能性があり、農場全体が汚染していると思われるので、MG、MSのまん延防止のため

に、Tylan又はTiamulinの定期的投与が必要である。

投与は0～3日齢、28日～30日齢及び58日～60日齢に0.05%の溶液の飲水投与を行う。その他の日齢での投与は効果を期待できない。

Tiamulinは、薬価が高い割にはTylanより優れた薬効があるとは思われないので、当分はTylanで十分である。

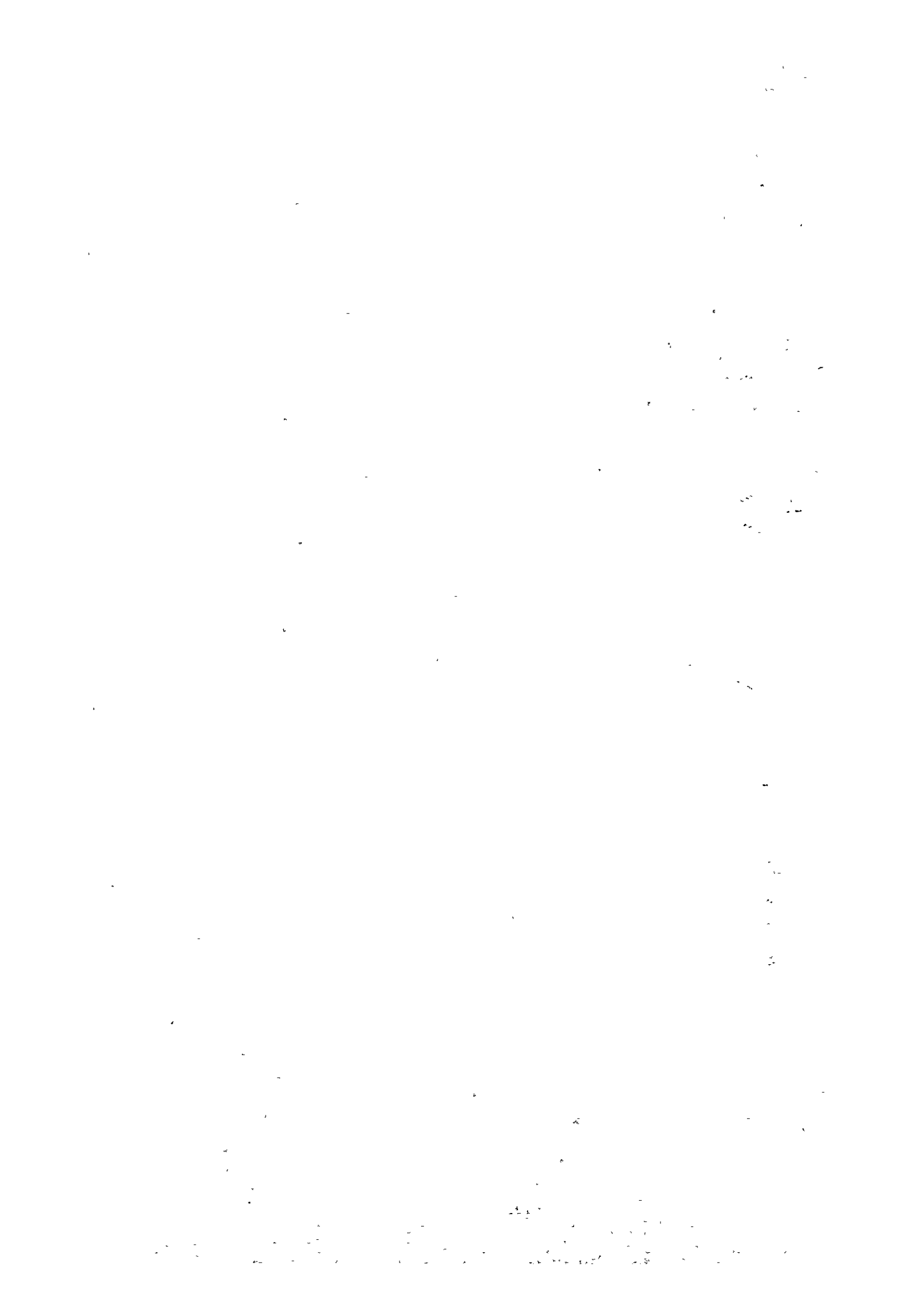
3) 種鶏のMG, MSの検査と淘汰

鶏のマイコプラズマ病(MG, MS)は、本病に汚染された種鶏場で生産された種卵からのひなによって広く伝播されてゆく。世界の多くの国、特に日本を含めて養鶏の先進国は、本病に汚染されていない種鶏群、即ちMG, MS Free鶏群(PPLOフリー鶏群)をつくることに長年努力して来ているが、ボリビア国においては、政府も孵化場(種鶏場)も全く観心を示さなかった。本来、政府が立ち上って防疫の音頭をとるべきであるが、今の政府の役人ではその期待は薄い。日本からの派遣専門家が政府に2人もいる事でもあるし、今後この方面への努力をうながす様指導してほしい。一方、孵化場の方も本病の発生、まん延の根源が自分のところにあると知ってはいるものの、政府の指導監督の無力さ及び養鶏家の無知につけこんで本病防遏の努力をしていない。農協系のシェーバーの孵化場にたまたまカナダ本社から技術者が来て、サンファン移住地に来てくれたので、嚴重に注意を促し、今後、MG, MSの防遏に努力することを約束してくれたが、一方のワーレン系の方は全くの無策である。本人は、今後はアメリカ本社からの指示通り検査、淘汰をくりかえすといっていたが信頼できない。アメリカ本社に手紙を出し、フランチャイズの指導監督をもっと嚴重にするよう申し入れるべきである。

(近く手紙を出す予定)

サンファン移住地養鶏農家きょとり調査

(3 2 ~ 3 5 頁参照)



養 鶏 衛 生 調 査

養鶏家 併 井 静 雄

1. 経営形態

事業	牛	豚	その他	米	大豆	マيس	果樹	その他	その他の職業	管 理 者	
				45 ha						家族	現地人
										2	1

2. 鶏の飼養状況

	成 鶏			中 大 す う		幼 す う
導 入 月 日	8 3 1 2 4	8 3 4 2 8				
羽 数	1,250	1,000				
現 在 羽 数	1,000	900				
品 種	シェーパー	ワーレン	ワーレン	ワーレン	シェーパー	シェーパー

3. 入すう計画

4 月 1,000羽 月 羽

4. 鶏舎の規模

成 鶏 舎			中 大 す う 舎	育 す う 舎
8 × 30	×	×	×	×
8 × 40	×	×	×	×
×	×	×	×	×
×	×	×	×	×
×	×	×	×	×

5. 点 灯

ある なし 時間 04:00~21:00

6. ワクチネーション, 及びメディケーションプログラム

ワ ク チ ン	日 令	疾 病	投 薬
鶏 痘	2.5~3ヶ月令	コリーザ	スルファ剤
ニューカッスル	7日, 28日	駆 虫	ピペラジン産卵開始前
鶏 チ フ ス	初 産 前	栄 養	2日/1個, ビタノール, ニラ
ア デ ノ	×		成鶏に初産後8ヶ月目頃からカイガラをやる。

7. ネズミの発生状況

8. 産 卵 状 況

初産日令(年月)	最高産卵率(%)	現 在 (%)
8 3 1 1 3 5	9 1	7 6
8 3 4 1 5 0	8 9	8 2

9. 検 査 成 績

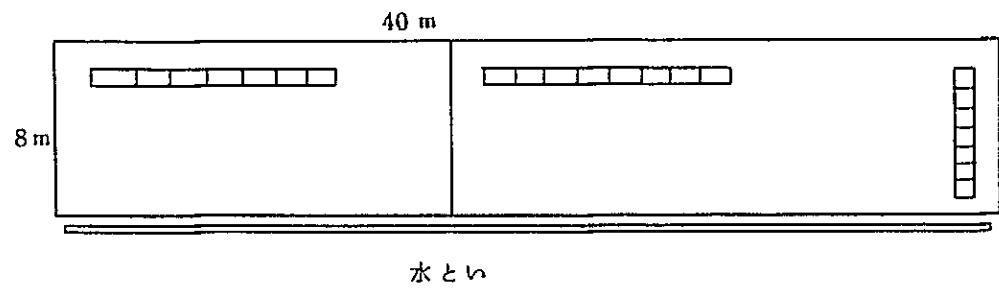
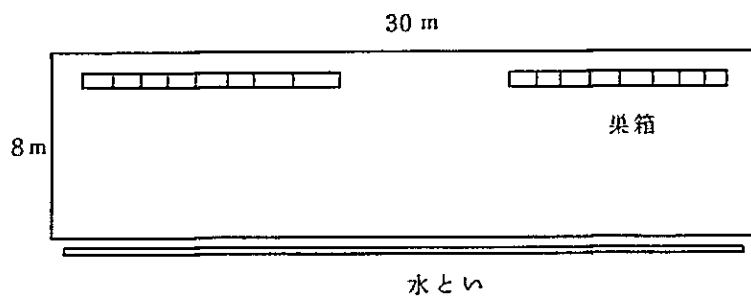
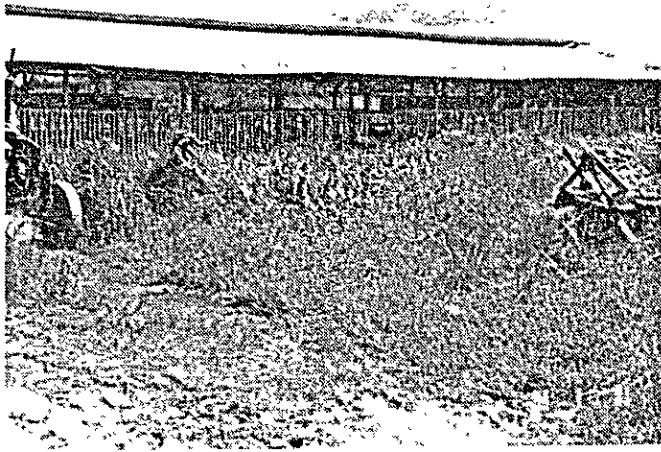
S P	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月
	— 8 3 1	— 8 3 4	—	—	—
M G	—	—	—	—	—
M S	—	—	—	—	—

10. 概 要

養鶏歴4年

今までの主な疾病は、コリーザ及びコクシジウム症であるが、最近ではコクシジウム症がなくなり投薬をやめている。

ビタノールは2,000ベソ/1ポンドで1週間に2ポンド使う。



養 鶏 衛 生 調 査

養鶏家 岡根 福一

1. 経営形態

事業	牛	豚	その他	米	大豆	マリス	果樹	その他	その他の職業	管 理 者	
				2 ha						家族	現地人
										2	1

2. 鶏の飼養状況

	成 鶏		中 大 す う	幼 す う
導入月日	83225	8371	8310.7	
羽 数	1,700	1,700	1,700	
現在羽数	1,500	1,600		
品 種	ワーレン	ワーレン	シェーパー	

3. 入すう計画 4月 1,700羽シェーパー 6月 1,700羽シェーパー

4. 鶏舎の規模

成 鶏 舎		中 大 す う 舎	育 す う 舎
8 × 56m	×	×	6 × 20
8 × 56	×	×	×
8 × 56	×	×	×
×	×	×	×
×	×	×	×

5. 点 灯 あり なし 時間 04:00~20:00

6. ワクチネーション, 及びメディケーションプログラム

ワ ク チ ン	日 令	疾 病	投 薬
鶏 痘	21日令	鶏チフス	カナマイシン注
ニューカッスル	1428あと3ヶ月毎	コクシ	ダイメトン
鶏チフス	150日令	栄 養	ビタノール 3日/週
ア デ ノ	×		

7. ネズミの発生状況

コンクリートの下に巣をつくり、ひながやられる。

8. 産 卵 状 況 初産日令(年月) 最高産卵率(%) 現 在 (%)

145 98%が3ヶ月続いた。 80

9. 検 査 成 績

		— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月
S P	+	—	—	—	—	—
	+	83225	8371	—	—	—
	+	—	—	—	—	—
M G	—	—				
M S	—	—				

10. 概 要

老夫婦で立派な家にすんでおり、子供達は夫々に独立している。

育すう時は15羽/m²であるが、成鶏は3.5羽/m²

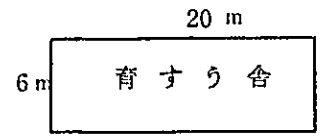
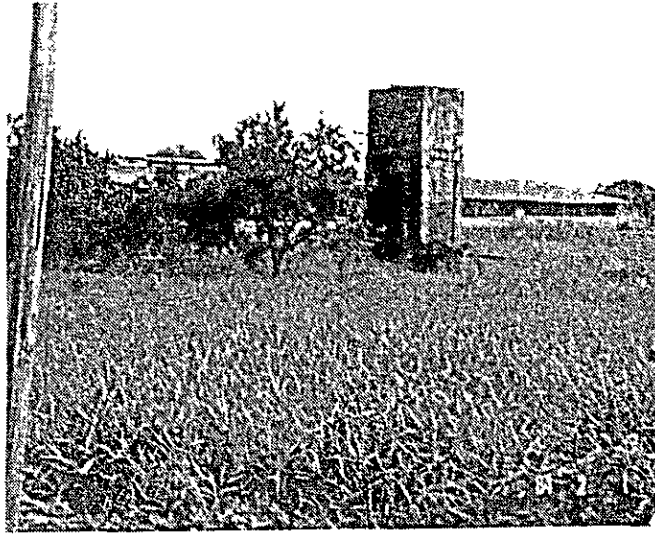
鶏舎及び床下はコンクリートで立派な鶏舎であるが、鶏舎周辺は水たまり、この農場では水が自噴している。

鶏舎は、東西の方向は悪いが南北がよいという。

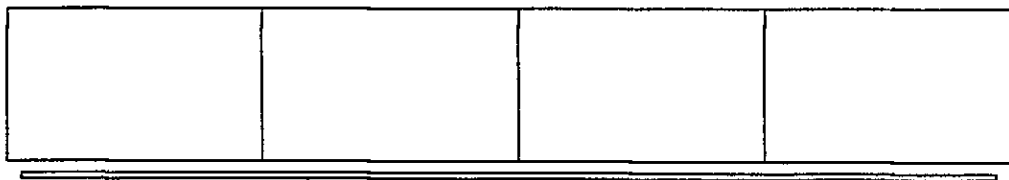
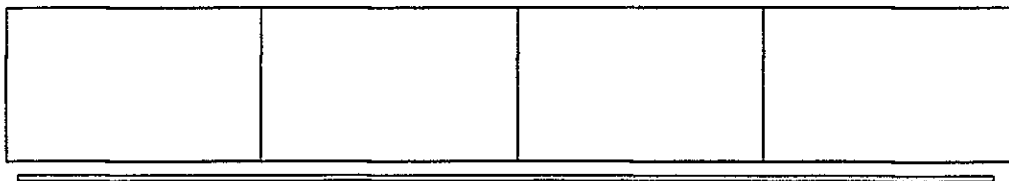
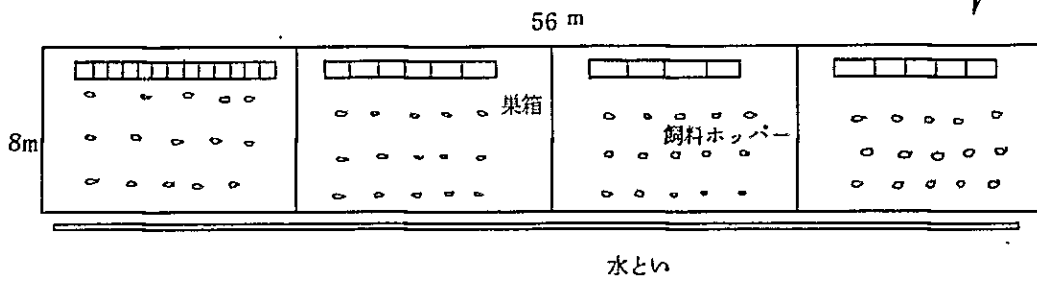
飼料は98%のとき 128g1日摂取

92%のとき 118g1日摂取

鶏舎は 草地の中にあるが低湿地である。



100 m



養鶏衛生調査

養鶏家 浅野有志

1. 経営形態

事業	牛	豚	その他	米	大豆	MAIS	果樹	その他	その他の職業	管理者	
		10		150ha	50ha					家族 5	現地人 0

2. 鶏の飼養状況

	成 鶏			中 大 す う	幼 す う
導入月日	8 3 2 2 0				8 4 1 2 3
羽数	2,000				1,000
現在羽数	1,500				1,000
品 種	ハーコー				ハーコー

3. 入すう計画 4月 1,000羽 8月 1,000羽 年3回

4. 鶏舎の規模

成 鶏 舎		中 大 す う 舎	育 す う 舎
5 × 40	×	×	5 × 8
5 × 40	×	×	5 × 8
5 × 40	×	×	×
5 × 40	×	×	×
×	×	×	×

5. 点 灯 ある なし 時間

6. ワクチネーション、及びメディケーションプログラム

ワクチン	日 令	疾 病	投 薬
鶏 痘	21日令 112日令	栄養	NCDワクチネーションの前後のみ
ニューカッスル	82156(ラソータ)98.126		ニラをあたえるため、薬剤は使わず
鶏チフス	150日令		
アデノ	×		

7. ネズミの発生状況

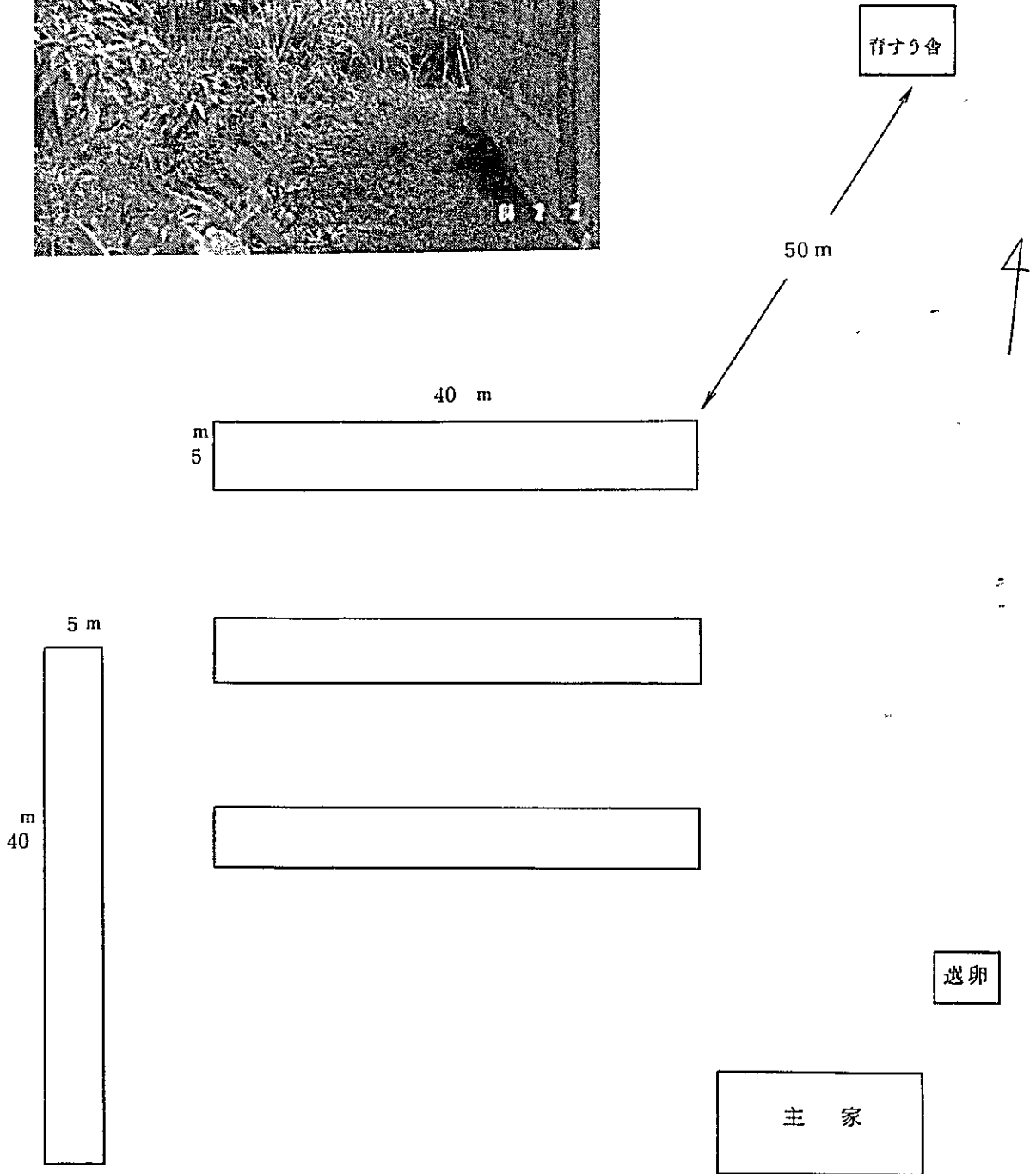
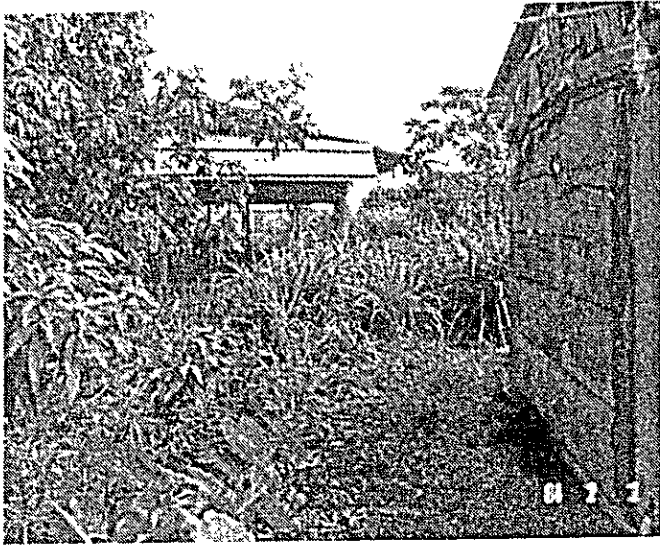
8. 産卵状況 初産日令(年月) 最高産卵率(%) 現在(%)
 140日令 90 産卵後7ヶ月目75

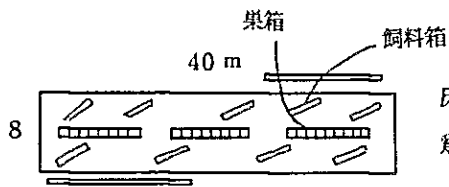
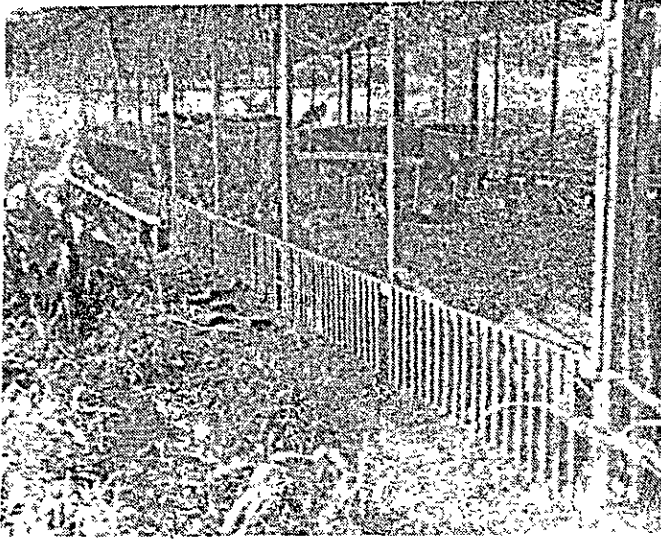
9. 検査成績

S	P	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月
		— 8 3 . 2 2 0	—	—	—
M	G	—	—	—	—
M	S	—	—	—	—

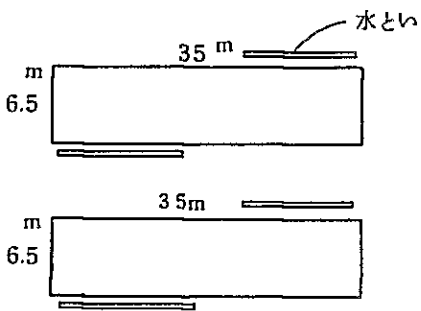
10. 概要 ビクトリア地区養鶏部長

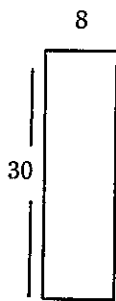
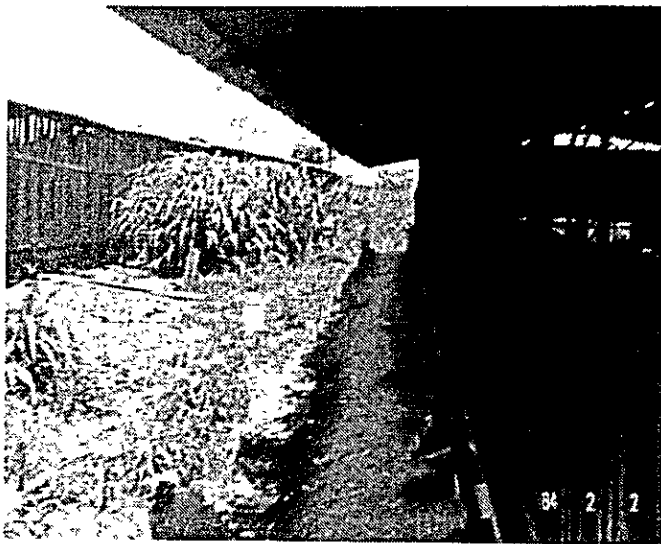
養鶏は、12年前約3,500羽からはじめた。大家族主義で、近親のものが集まり管理している。徹底してニラをあたえ、毎回飼料にニラをいれるために女3人で配合していた。羽数は、今しばらくは、このまゝでゆき、将来は3,500羽にもってゆきたいとの事。消毒は鶏舎の入口にクレゾールの踏込みをおいている。鶏舎の消毒は、入すう前にクレゾールで消毒、1,000羽(400㎡)に1ℓを使う(1ℓ5.000ベソ)その後、ガスバーナーで床面をやいている(LPG10kg(500ベソ)2本)昨年2月、鶏チフス発生、3,500羽のうち200羽死亡。月平均30羽を淘汰し、豚用にしている。





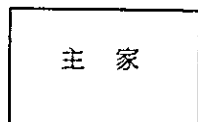
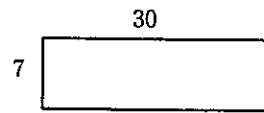
床面は土
鶏舎周辺に水たまりあり





床面は土，鶏舎周辺のどろは中に入る。

深い排水溝あり
木の枝の止り木あり
巣箱はこわれ，まるで野鳥を
かっているようである。



養 鶏 衛 生 調 査

養鶏家 川村 繁松

1. 経営形態

事業	牛	豚	その他	米	大豆	マيس	果樹	その他	その他の職業	管 理 者	
										家族	現地人
										2	0

2. 鶏の飼養状況

	成 鶏			中 大 す う	幼 す う
導入月日	8210			8311.7	
羽 数	1,000			1,000	
現在羽数	700			950	
品 種	ハーク			シェーバー	

3. 入すう計画

6月 1,000羽 ハーク 月 羽

4. 鶏舎の規模

成 鶏 舎			中 大 す う 舎	育 す う 舎
8 × 30	700 ×	×	×	×
8 × 30	950 ×	×	×	×
8 × 30	アキ ×	×	×	×
×	×	×	×	×
×	×	×	×	×

5. 点 灯 ある (有) 時間

6. ワクチネーション、及びメディケーションプログラム

ワ ク チ ン	日 令	疾 病	投 薬
鶏 痘	×	鶏チフス	カナマイシンをワクチンと同時
ニューカッスル	組合の指示により中ひな以降3ヶ月毎		
鶏 チ フ ス	7/22 9/28		
ア デ ノ		消 毒	1~2週間に1回

7. ネズミの発生状況

8. 産 卵 状 況

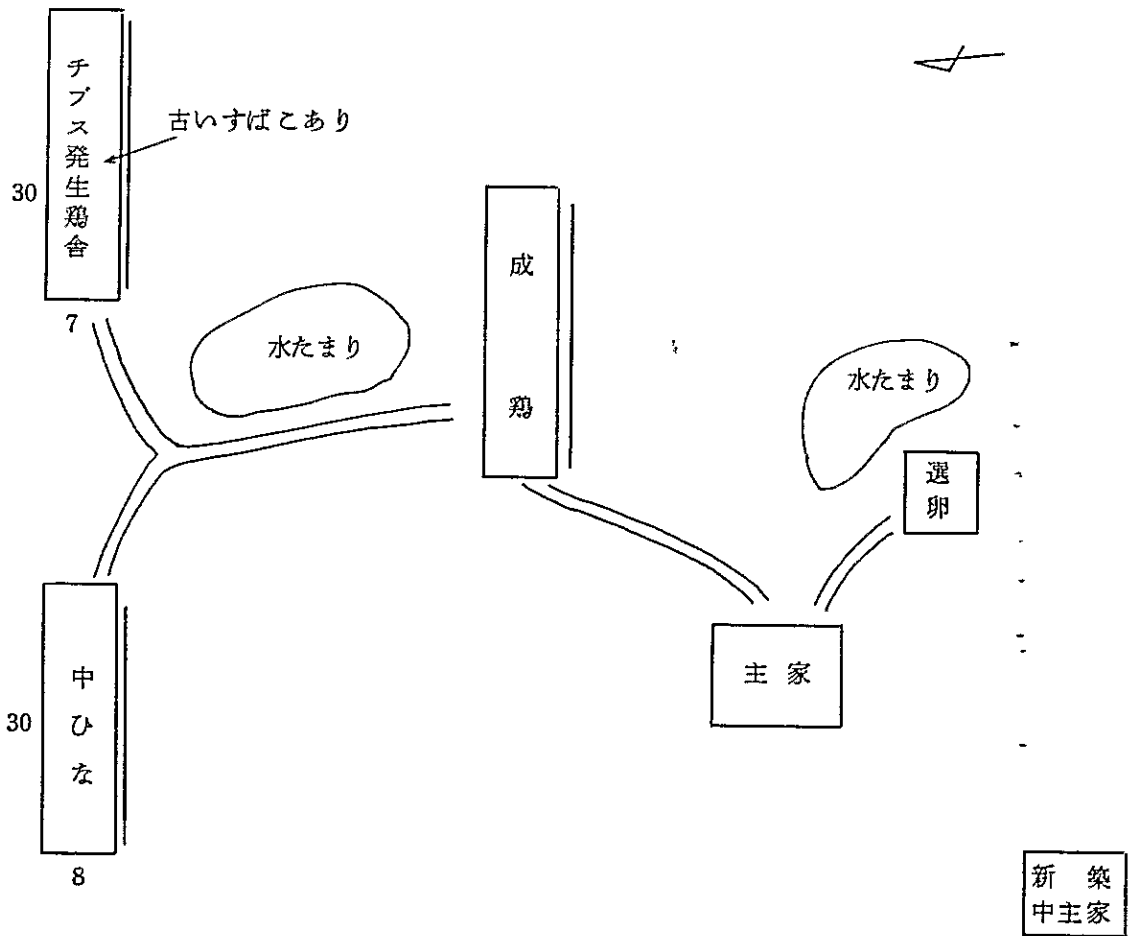
初産日令 (年月) 最高産卵率 (%) 現 在 (%)
 145 60 64 (15ヶ月令)

9. 検 査 成 績

	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月
S P	+ 8210	— 83.117	—	—	—
M G	—	—	—	—	—
M S	—	—	—	—	—

10. 概 要 S Pの反応は非常に早かった。

老夫婦 2人だけのかほそい生活。
 今まではシェーバーであったが、今回ハークをいれた。将来は3,000羽常時飼育したい。
 鶏チフスはワクチネーションのとき発生していたのかも知れない。ワクチン投与後、本病の発生が見られたので再びやった。
 8210以前に導入した鶏も本病に大分やられた。
 飼料は今まで2時間おきの制限給飼を行っていたが、飼料が高くなったので2時間半にした。
 飲水量も非常に少ない。選卵場は水たまりの中の小屋で行っていた。
 83117のひなに圧死50羽あり。



養 鶏 衛 生 調 査

養鶏家 本 多 匡四郎

1. 経 営 形 態

事業	牛	豚	その他	米	大豆	マイス	果樹	その他	その他の職業	管 理 者	
		29		50 ha			16 ha			家族	現地人

2. 鶏の飼養状況

疾病のため半分死亡

	成 鶏		中 大 す う	幼 す う
導 入 月 日	8 2.8.10	8 3 3.1		
羽 数	1,000	1,000		
現 在 羽 数	500	900		
品 種	ワーレン	ワーレン		

3. 入すう計画

3月

1000羽 ワーレン

月

羽

4. 鶏舎の規模 床面土

成 鶏 舎		中 大 す う 舎	育 す う 舎
6 × 36	×	×	×
6 × 16	×	×	×
6 × 16	×	×	×
×	×	×	×
×	×	×	×

5. 点 灯 ある (有) 時間

6. ワクチネーション, 及びメディケーションプログラム

ワ ク チ ン	日 令	疾 病	投 薬
鶏 痘	×	鶏チフス	5~11月間発生(産卵後10月)
ニューカッスル	農協の指示による	コクシ	833.1のひな10羽死亡
鶏チフス	※	M D	3年前, ひなが脚弱, 産卵後バタバタおれた。
ア デ ノ		ヘジラミ	1~1.5ヶ月/回

7. ネズミの発生状況

多くて困っている。

※ 833.1, 5月, 9月, 産卵開始2週間前
838.10 前者より1日おくれる

カナマイシン 21,000ペツ/500羽

8. 産 卵 状 況 初産日令(年月) 最高産卵率(%) 現 在 (%)

3.11 145日令

80

8 1 146日令

70

卵が小さい, 1:2の割に正常卵が少ない。

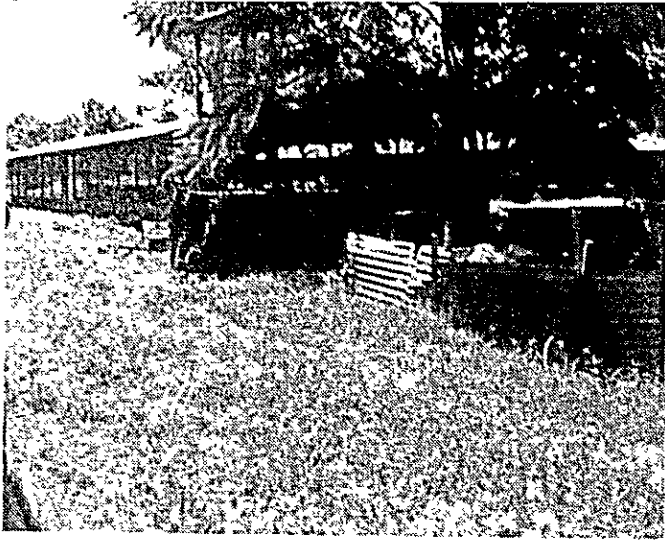
9. 検 査 成 績

S P	+	導入年月	-	導入年月	-	導入年月	-	導入年月	-	導入年月
	+	8 3.3.1	-		-		-		-	
M G	+									
M S	+									

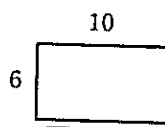
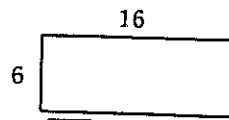
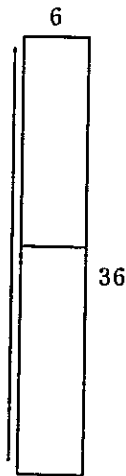
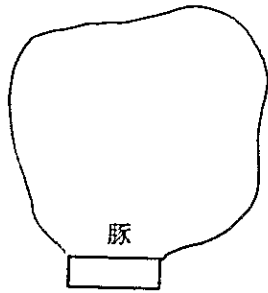
10. 概 要

幹線から約1 km, 水たまりの中をゆく, 途中で車はエンコ。

21年前に入植(島原の殿様の子孫, 奥様は長崎県庁の事務員)して, 今だにこんな生活をしている人もいるかと思ったら全く気の毒になった。家の中は目をそむけなくなるほどに貧しく不潔だった。それでも, 出されたお茶と漬物はおいしく戴いた。帰り際に私たちのおちこぼれのところに来て戴いて有難うございましたといわれたときは流石に涙の出るおもいだった。現在は不況のせいか, パナナが高くなるのでうれしいといわれた。給水は女の子が井戸水をくみ(どろ水)兄にわたしていた。鼻のまわりのよごれた鶏を沢山みかける(呼吸器病)多いときは2,000羽いたが, 将来は3,000羽にしたい。



主
家



養 鶏 衛 生 調 査

養鶏家 飯 星 末 広

1. 経 営 形 態

事業	牛	豚	その他	米	大豆	マイス	果樹	その他	その他の職業	管 理 者	
										家 族	現 地 人
										2	0

2. 鶏の飼養状況

	成 鶏		中 大 す う	幼 す う
導入月日	82末	83527	831210	
羽 数	1,200	1,200	1,200	
現在羽数	900	1,100		
品 種	ワーレン	ワーレン	ワーレン	

3. 入すう計画 5月 1,200羽ワーレン 11月 1,200羽ワーレン

4. 鶏舎の規模

成 鶏 舎		中 大 す う 舎	育 す う 舎
7 × 35	×	×	8 × 10
7 × 30	×	×	×
9 × 20	×	×	×
5 × 30	×	×	×
×	×	×	×

5. 点 灯 あり なし 時間 04:00~21:00 但し、産卵がおちはぢめてからやっている。

6. ワクチネーション、及びメデイケーションプログラム

ワ ク チ ン	日 令	疾 病	投 薬
鶏 痘	50~60日令	コクシ	ダイメトレを予防に使う。但し発生未だなし
ニューカッスル	組合の指示に従う	鶏チフス	カナマイシン
鶏チフス	× ※	羽虫	すばこの中にセビン
ア デ ノ			

7. ネズミの発生状況 ※今はやっていないが、やったときは115日令

昨年、一昨年は非常に多かったが、近頃は案外に少ない。

8. 産卵状況 初産日令(年月) 最高産卵率(%) 現在(%)

4ヶ月令 85 70
 産卵開始から1ヶ月半は破卵が多かった。 ハーコーは最初の2ヶ月は実によくうんでくれた。
 1,200羽のうち、トサカが大きく立っている。 骨盤のひらかないとりが2, 3羽いる。

9. 検査成績

S	P	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月
		— 8210	— 83.5.27	— 8312.10	—
M	G	+	+	-	
M	S	-	+	+	

10 概 要

鶏専業で15年前からやっている。適正規模としては4,500羽(成鶏3,500羽)であるが一昨年及び昨年の5月、11月の鶏チフス発生により、未だたちなおれず、夫婦のみで経営。

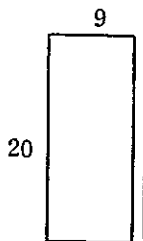
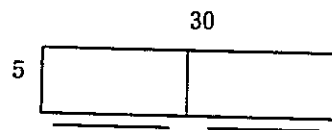
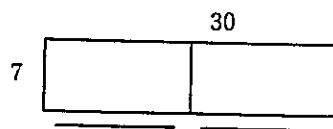
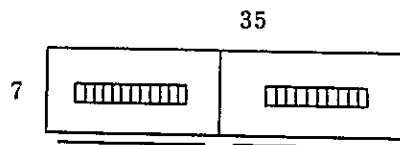
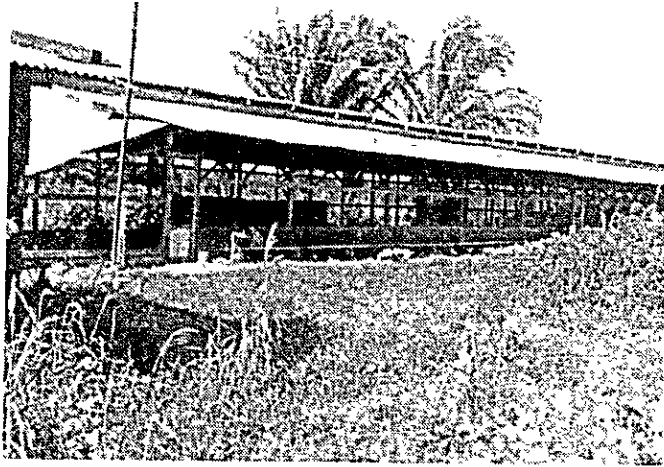
雨が長い間ふったときは、給水トイの下、鶏舎の入口のしめったところを消毒。

現地人が農場に来ての鶏買いは大きい鶏が目あてである。小さい鶏はいつまでも残る。

2,200ペン/羽、ききとり調査において1羽の侵入を疑わせる。

相談相手は早坂氏でmonteoloのVeterinary DoctorかSanta Cruzの阿部さんにみてもらう。

5.27の鶏はMG, MSに高度の陽性反応あり。



養 鶏 衛 生 調 査

養鶏家 早坂和男

1. 経営形態

事業	牛	豚	その他	米	大豆	マيس	果樹	その他	その他の職業	管 理 者	
										家族	現地人
										2	1

2. 鶏の飼養状況

	成 鶏			中 大 す う	幼 す う
	8 2 9 . 4	8 3 2 . 4	8 3 . 6 2 1	8 3 1 2 3 0	
導 入 月 日					
羽 数	2,250	2,400	2,000	2,200	
現 在 羽 数	1,900	2,200	1,900	2,200	
品 種	ワーレン	ワーレン	ワーレン	ワーレン シューバー	シューバー

3. 入すう計画 月 未定 羽 3ヶ月毎に導入していたが1昨年の未から4ヶ月毎とする。

4. 鶏舎の規模

成 鶏 舎			中 大 す う 舎	育 す う 舎
8 × 8 0	×	×	×	×
8 × 8 0	×	×	×	×
8 × 8 0	×	×	×	×
8 × 8 0	×	×	×	×
×	×	×	×	×

5. 点 灯 あり なし 時間 04:00~20:30 ひなは夕方のみ15時間

6. ワクチネーション、及びメディケーションプログラム

ワ ク チ ン	日 令	疾 病	投 薬
鶏 痘	ここ10年ほどやっていない	栄養	ダイナムルチン
ニューカッスル	7,28,56,90あと3-4ヶ月毎		
鶏 チ フ ス	組合員でないからやっていない		クロラムフェニコール及びフラゾリン添加の
ア デ ノ			ミタミン剤(スクイブ製)

7. ネズミの発生状況

あまりみない。

8. 産卵状況 初産日令(年月) 最高産卵率(%) 現 在 (%)

145 90 75

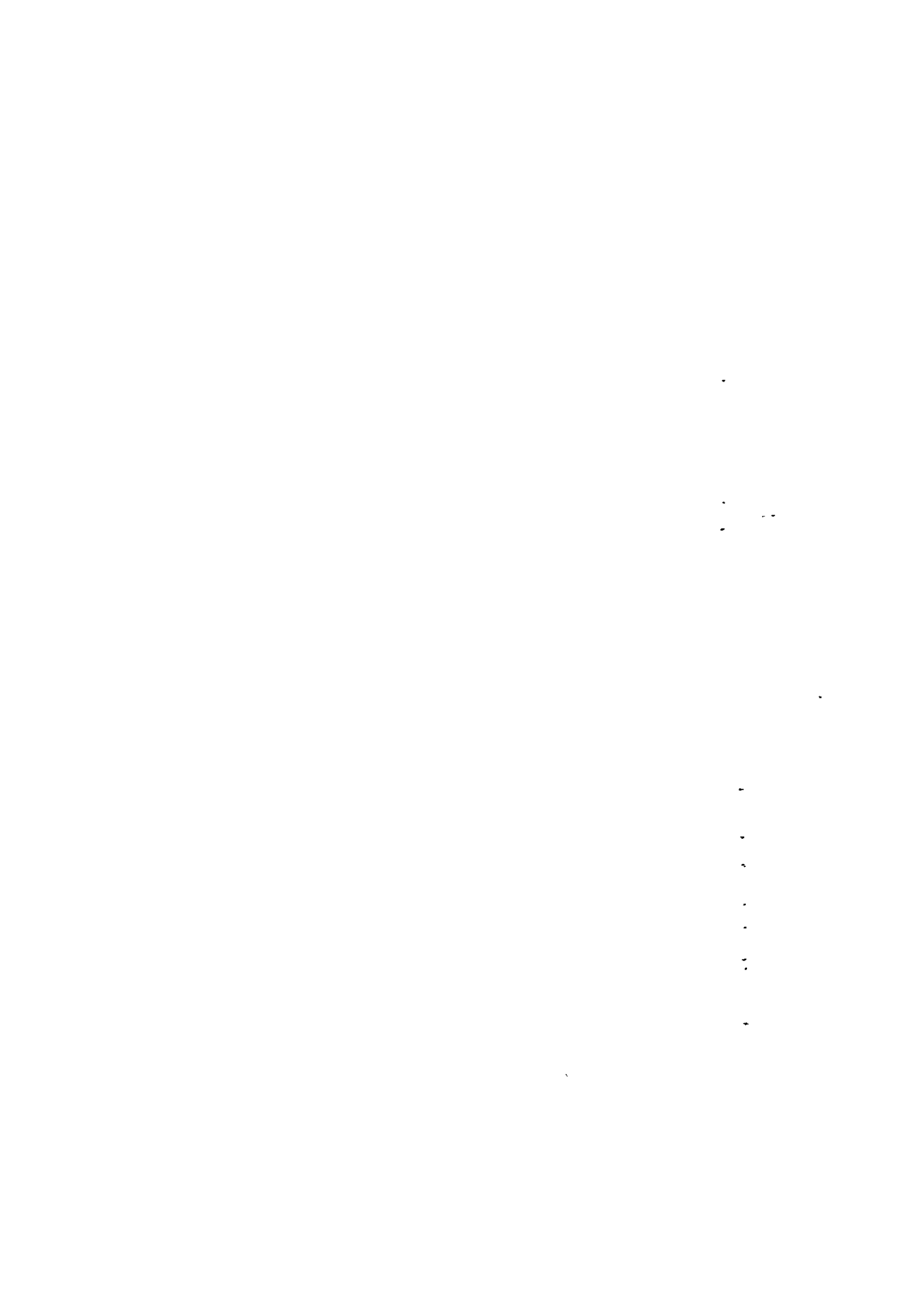
9. 検査成績 実施せず

S P	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月
	—	—	—	—	—
M G.					
M S.					

10. 概 要

動物薬販売業、鶏は17年前から専業
 養鶏家特に非組合員の相談相手となり、またMonteloのVeterinary Doctorと手をくみ動物薬の販売を行っている。(4年前に鶏チフスが入り、その後このDoctorと手をくんでいる)鶏病センターを作ってくれと前々から希望していた。農協以外の飼料は非常に悪く雨期とは3日位で固まる時もある。従って飼料の検査もできるようにしてほしいと要望あり。

午前中はいそがしいから、採血は午後からにしてくれとの事で中止。



養 鶏 衛 生 調 査

養鶏家 荒田 重光

1. 経営形態

事業	牛	豚	その他	米	大豆	マイス	果樹	その他	その他の職業	管 理 者	
										家族	現地人
										3	1

2. 鶏の飼養状況

	成 鶏		中 大 す う	幼 す う
導入月日	不明		8 3 1 2 2 3	
羽 数			1,5 0 0	
現在羽数	1,4 5 0			
品 種	ワーレン		ワーレン	

3. 入すう計画

月 羽 月 羽

4. 鶏舎の規模

成 鶏 舎			中 大 す う 舎	育 す う 舎
8 × 5 0	×	×	×	×
8 × 5 0	育すうに使用	×	×	×
×	×	×	×	×
×	×	×	×	×
×	×	×	×	×

5. 点 灯 有る () 時間

6. ワクチネーション, 及びメディケーションプログラム

ワ ク チ ン	日 令	疾 病	投 薬
鶏 痘	} 未だ実施せず		
ニューカッスル			
鶏チフス			
アデノ			

7. ネズミの発生状況

あまりみない。

8. 産卵状況 初産日令(年月) 最高産卵率(%) 現在(%)

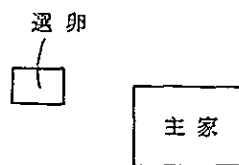
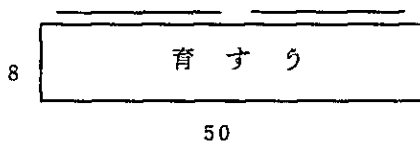
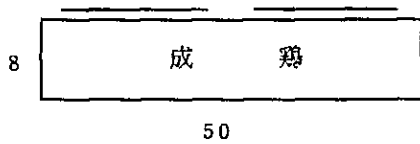
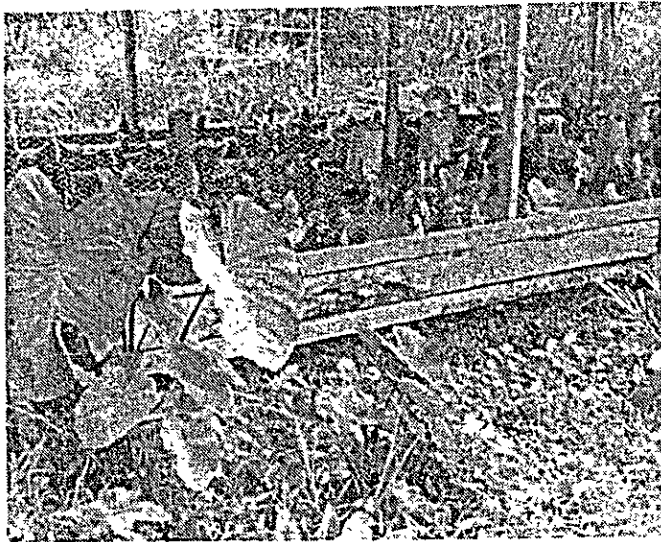
6 0

9. 検査成績

S P	+	+	-	-	-
	導入年月 不明	導入年月 1 2 2 3	導入年月	導入年月	導入年月
M G	+	+			
M S	-	-			

10 概 要

2年前、本人が病気になる鹿兒島に帰国、昨年10月再入植
 現在地をタテモノ、鶏舎など400万円で入手(とりは別)
 現在羽数では少ないので、4,000羽をもってゆきたい。
 管理は本人夫婦と子供2人



養 鶏 衛 生 調 査

養鶏家 沢 元 静 雄

1. 経営形態

事業	牛	豚	その他	米	大豆	マيس	果樹	その他	その他の職業	管 理 者	
	55									家族	現地人
										1	4

2. 鶏の飼養状況

	成 鶏					幼 す う
	8 2.9	8 2 1 0	8 3 2	8 3.5	8 3.8	
導 入 月 日	8 2.9	8 2 1 0	8 3 2	8 3.5	8 3.8	
羽 数	1,000	2,000	1,500	2,500	500	
現 在 羽 数	900	1,300	1,300	2,200	450	
品 種	ワーレン	ワーレン	ワーレン	ワーレン	ワーレン	シェーパー

3. 入すう計画

月 な し 羽 月 羽

4. 鶏舎の規模

成 鶏 舎			中大すう舎	育すう舎
8 × 65	×	7 × 30	×	7 × 16
8 × 65	×	×	×	× 目下倉庫
8 × 40	×	×	×	×
8 × 40	×	×	×	×
7 × 30	×	×	×	×

5. 点 灯

なし 時間 04:00~20:30 大ひなまではやっていない。

6. ワクチネーション、及びメディケーションプログラム

ワ ク チ ン	日 令	疾 病	投 薬
鶏 痘	中ひな	コクシ	アンプロール
ニューカッスル	7.21.45 以後3~4ヶ月令	コリーザ	チアムリン/タイラン
鶏 チ フ ス	今まで 回やったことがある	CRD	
ア デ ノ	若いとりにはやってある	チフス	カナマイシンの準備している。
		栄 養	1週間に3日間投与

7. ネズミの発生状況

1時ものすごく沢山いたが、最近はいなくなった。

8. 産 卵 状 況

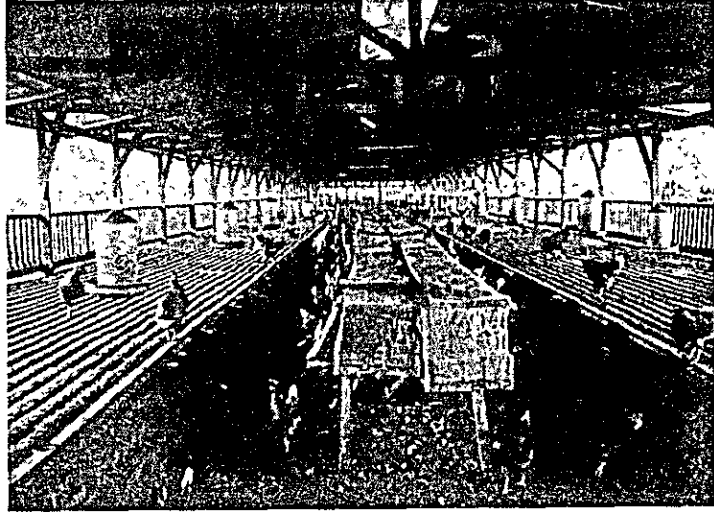
初産日令(年月) 最高産卵率(%) 現 在 (%)
 1 4 5 9 2 7 5
 88~85%のときもある

9 検 査 成 績

S. P	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月
	— 8 2.9	— 8 2 1 0	— 8 3.2	— 8 3.5	— 8 3.8
M G	+	+	+	+	+
M S	+	+	+	+	+

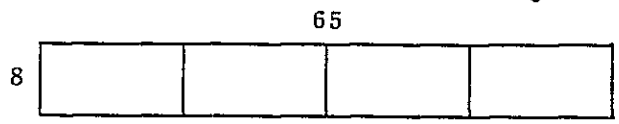
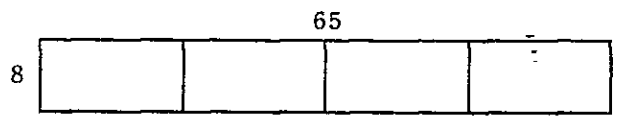
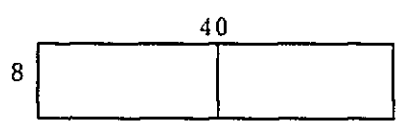
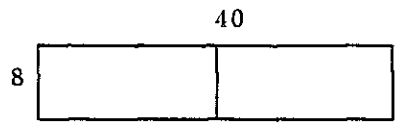
10. 概 要

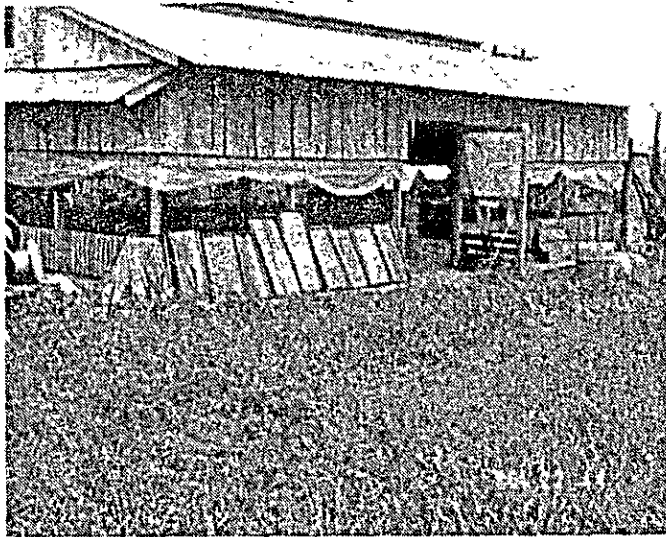
畜産業として、特にひなの販売特約店(ワーレン種)及び飼料特約店として生計をたてる。みるからに裕福なかまである。将来は9,000~9,500羽にもってゆきたい。管理は本人がかんたくし、現地人4人を使っている。現地人は10年も働いているベテランとの事。
 飼料にフラソリゾン及びメチオエンの添加を行っている。
 CRDは何年か前に出たことがある。MDはでるときは多くて10%、少なくとも1%でる。
 初産まで20%の淘汰が行なわれている。
 トウモロコシのサイロがほしい。



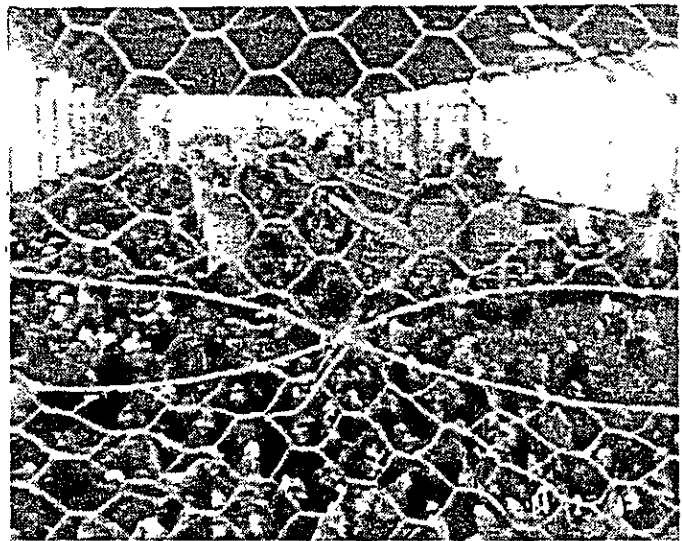
倉庫

主家



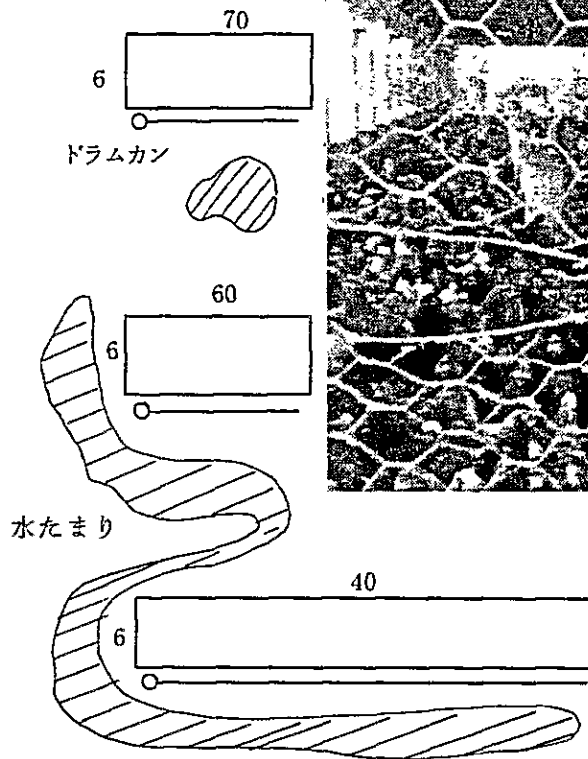


育すり舎

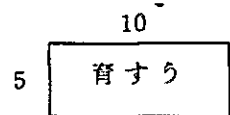
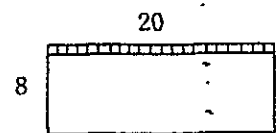
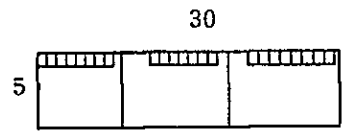
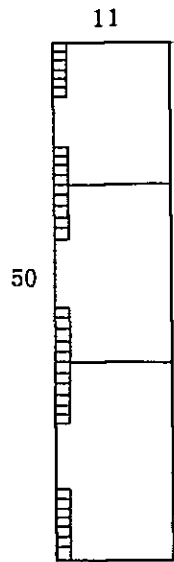
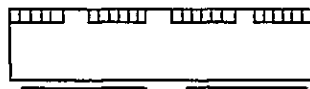
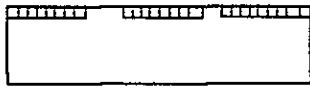
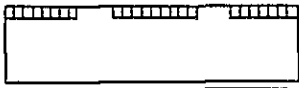
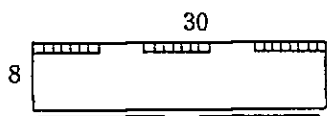
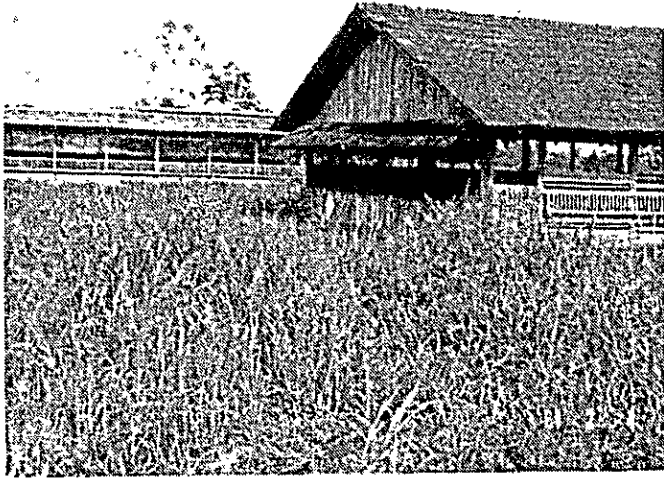


泥沼の床面

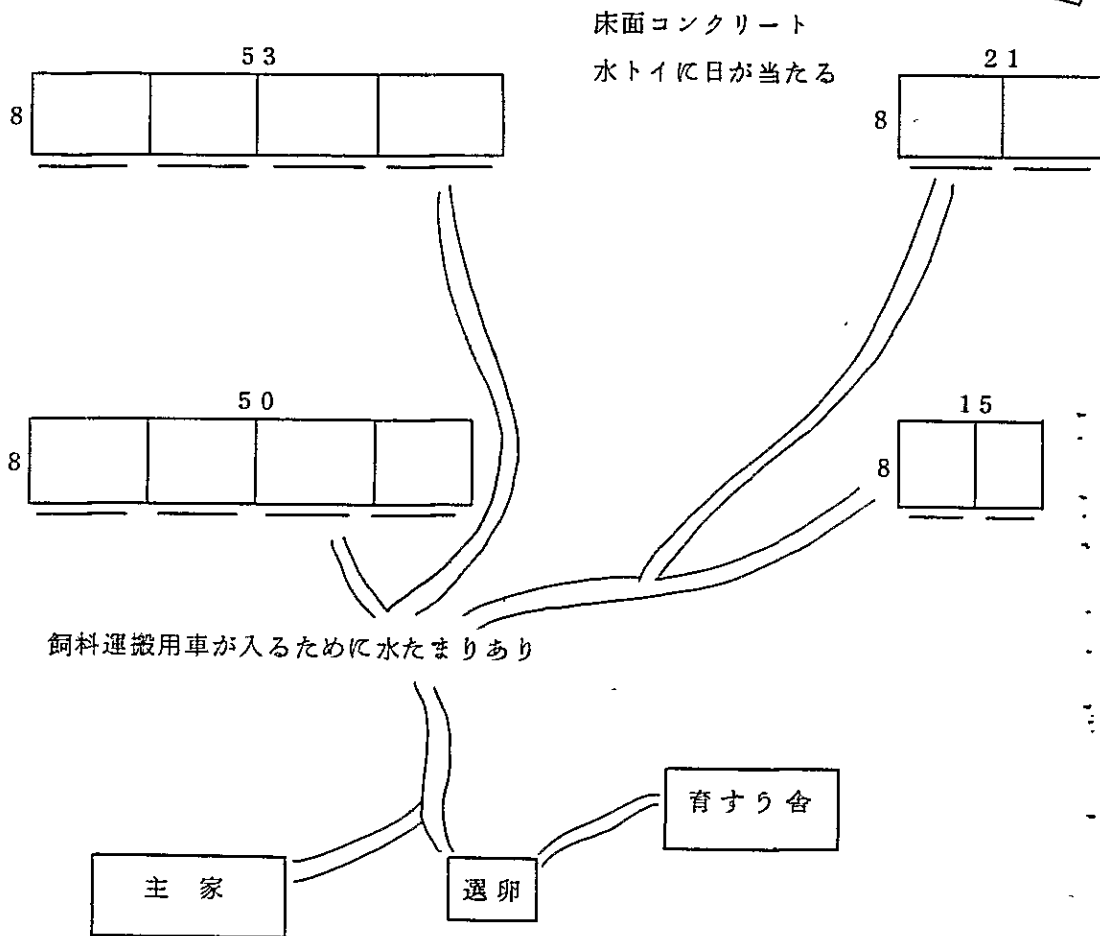
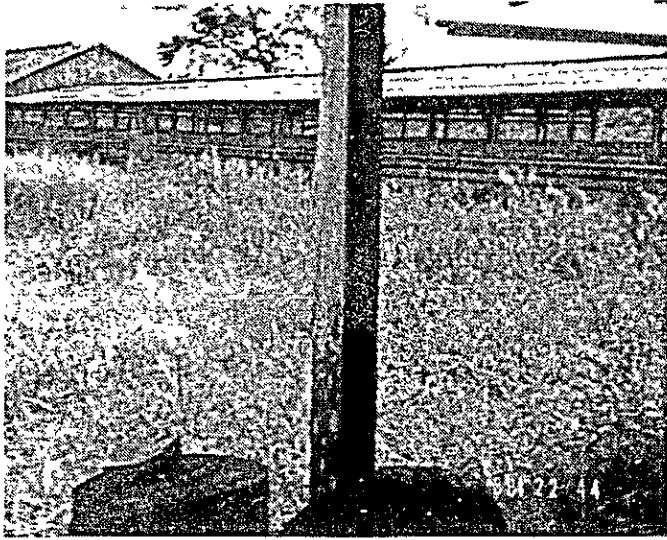
育すり舎

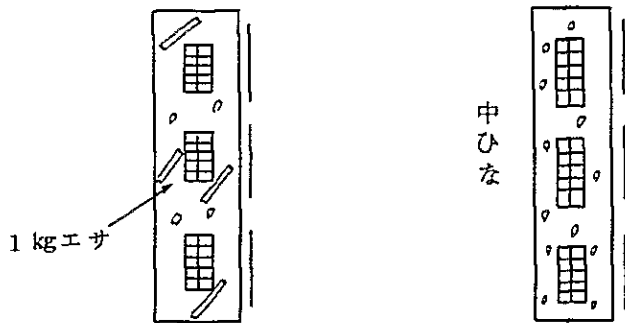
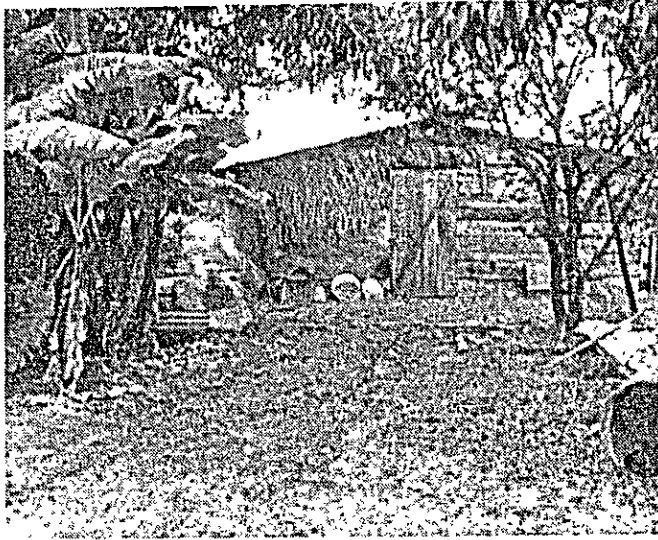


主家



床面及び鶏舎のまわりもコンクリート
 果箱が高すぎる（本人が腰が悪いために高くしている）
 果箱はむしろ外からとった方が省力的ではなからうか。





給水トイの下は巾1 mのコンクリート。給水トイはコケが生えてた。
床面コンクリート。

主 家



選卵

養 鶏 衛 生 調 査

養鶏家 上田 貞道

1. 経営形態

事業	牛	豚	その他	米	大豆	マイス	果樹	その他	その他の職業	管 理 者	
	G0			14 ha						家族	現地人
										1	1

2. 鶏の飼養状況

	成 鶏			中 大 す う	幼 す う
	導入月日	83312	837.18		8312.9
羽 数	1,000	1,000		1,000	
現在羽数	800	900		990	
品 種	ワーレン	ワーレン		ワーレン	

3. 入すう計画

3 月 1,000羽 ワーレン 月 羽

4. 鶏舎の規模

成 鶏 舎			中 大 す う 舎	育 す う 舎
7 × 25	×	×	×	6 × 8
7 × 25	×	×	×	×
9 × 20	×	×	×	×
7 × 30	×	×	×	×
×	×	×	×	×

8312

5. 点 灯 ある 時間

6. ワクチネーション、及びメディケーションプログラム

ワ ク チ ン	日 令	疾 病	投 薬
鶏 痘	30日令	コクシ	83312, 3日間に, 130羽死亡
ニューカッスル	4~5, 30 あと3ヶ月毎		
鶏チフス	115日令		
アデノ	115日令		

7. ネズミの発生状況

いることはいるようだ。

8. 産卵状況

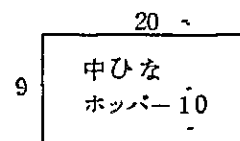
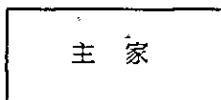
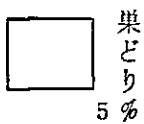
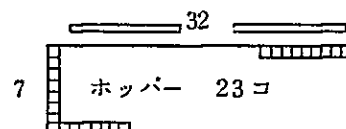
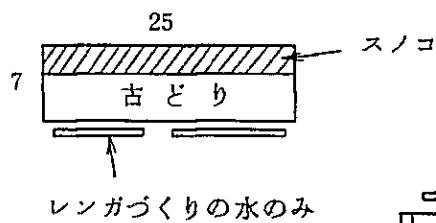
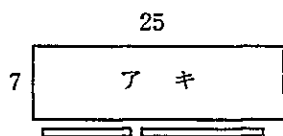
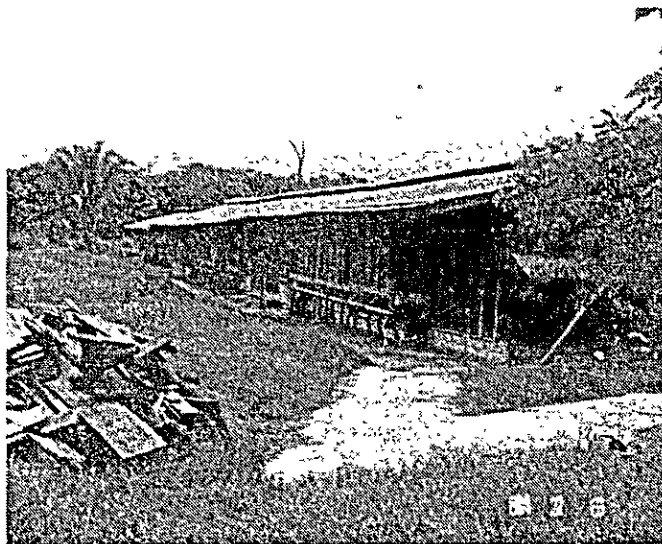
初産日令	最高産卵率(%)	現 在 (%)
833 150	90	80
837 160	産卵率はあがらない	異常卵が10%ほどある

9. 検査成績

	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月
S P	— 83312	— 837	—	—	—
M G	—	—	—	—	—
M S	—	—	—	—	—

10. 概 要

鶏と牛と米と果樹の多角経営、養鶏は奥様が主体で現地人1人でやっている。
 最近壊死性腸炎のため30羽死亡(フラゾリゾレとビタミン混合剤投与)3日間1日1本3日間の6日間投与。全体で1割産卵低下未だ回復しない。4~5日前からエサをたべはじめた(837.18)
 急性コクシの発生は55日令から1週間の間、幼すう用から中ひな用に切りかえたあとに発生アグリボーン投与。
 淘汰はあまりやっていない。



1月齢まで

養鶏衛生調査

養鶏家 野田 利行

1. 経営形態

事業	牛	豚	その他	米	大豆	マリス	果樹	その他	その他の職業	管 理 者	
	80									家族	現地人
										2	2

2. 鶏の飼養状況

	成 鶏			中 大 す う	幼 す う
導入月日	8 2 1 1 9	8 3 4 . 2 7	8 3 6 . 2 7		8 4 1 1 7
羽 数	2,000	2,000	2,500		2,500
現在羽数					
品 種	シェーパー	シェーパー	シェーパー		ハーコー

3. 入すう計画 4月 2,500羽 ワーレン 月 羽

4. 鶏舎の規模

成 鶏 舎			中 大 す う 舎	育 す う 舎
8 × 100	×	×	×	8 × 25
8 × 100	×	×	×	×
8 × 100	×	×	×	×
8 × 100	×	×	×	×
8 × 50	×	×	×	×

5. 点 灯 ある (有) 時間 床はセメント

6. ワクチネーション、及びメディケーションプログラム

ワクチン	日 令	疾 病	投 薬
鶏 痘	10日令	CRD	1昨年は天分でたが近頃でない、乾燥しているときに でる。
ニューカッスル	組合の指示	コクシ	2ヶ月令までにてる、20日でアグリボン
鶏チフス	110, 150日令		
アデノ	110日令※		

7. ネズミの発生状況 ※4/29, 6/27のひなのみに使用
いる。

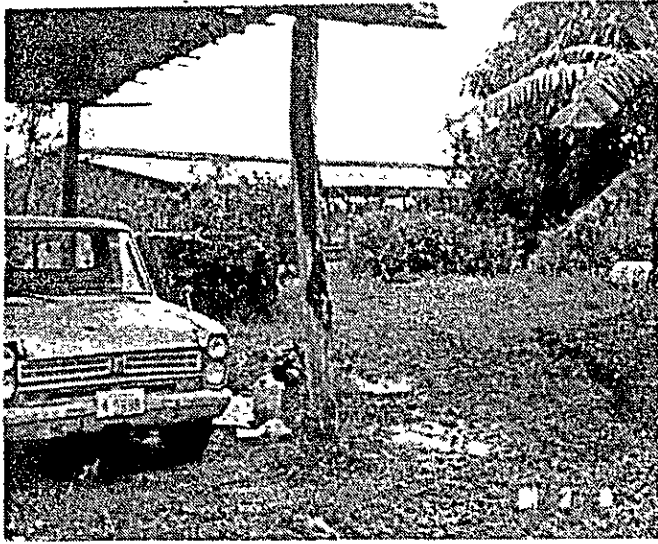
8. 産卵状況 初産日令(年月) 最高産卵率(%) 現在(%)
早くて4ヶ月。 80 60
5ヶ月～5ヶ月半

9. 検査成績

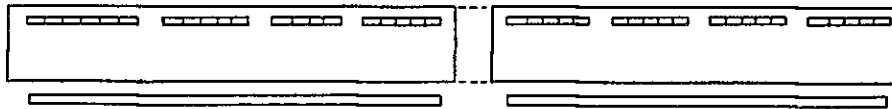
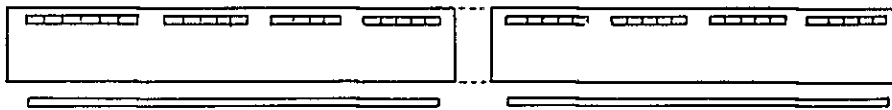
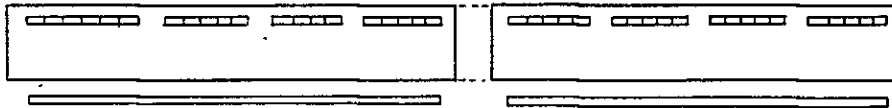
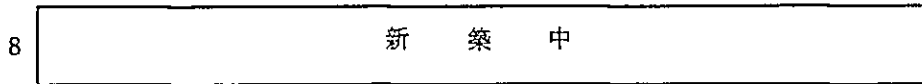
S P	— 導入年月	+ 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月
	— 8 2 1 1 9	+ 8 3 4 . 2 7	— 8 3 6 . 2 7	—	—
	—	+	—	—	—
M G	+	—	—		
M S	—	—	—		

10. 概 要

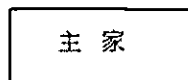
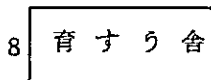
本人夫婦と現地人2人
鶏チフスの被害は大きかった。現在はワクチン及びカナマイシンで防いでいる。
淘汰は産卵開始後毎月1%



100



25



養 鶏 衛 生 調 査

養鶏家 近藤 六松

1. 経営形態

事業	牛	豚	その他	米	大豆	マイス	果樹	その他	その他の職業	管 理 者	
	120			40 ha						家族	現地人
										2	0

2. 鶏の飼養状況

	成 鶏		中 大 す う	幼 す う
導入月日	83.6.24			
羽 数	1,600			
現在羽数	1,500			
品 種	シェーパー			

3. 入すう計画

4月 2,000羽 シェーパー 月 羽

4. 鶏舎の規模

	成 鶏 舎		中 大 す う 舎	育 す う 舎
8 × 60	×	×	×	×
8 × 32	×	×	×	×
8 × 16	×	×	×	×
8 × 16	×	×	×	×
×	×	×	×	×

5. 点 灯 ある (有) 時間

6. ワクチネーション、及びメディケーションプログラム

ワクチン	日 令	疾 病	投 薬
鶏 痘	30日令	コクシ	15日令にアグリボンをやったがきかず、20日すぎにダイメトン投与。
ニューカッスル	4ヶ月毎		
鶏チフス	初産開始時	栄 養	ロビゾール
アデノ	115日令		

7. ネズミの発生状況

いるが、かなり少なくなった。

8. 産卵状況

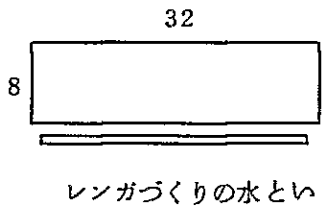
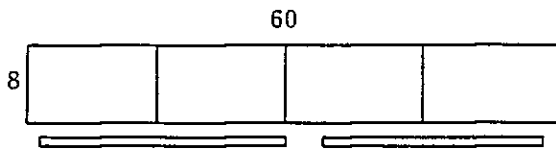
初産日令(年月) 最高産卵率(%) 現在(%)
3~4ヶ月令 90 70

9. 検査成績

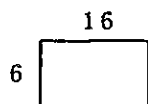
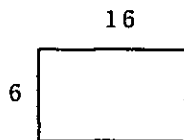
S・P	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月
	— 839	— 832	—	—	—
M G	+	+			
M S	-	-			

10. 概 要

野田さんの家の前、老夫婦で経営
今年の2月下旬に鶏チフスを出した(82.9の生きのこり600羽に)
この群は832に初産開始後、3月頃、鶏チフスにかかった。



やねがひくく暑い
床面はレンガを敷く



養 鶏 衛 生 調 査

養鶏家 西 沢 篤 視

1. 経 営 形 態

事業	牛	豚	その他	米	大豆	マイス	果樹	その他	その他の職業	管 理 者	
				50 ha					農協組合長	家族	現地人
										1	3

2. 鶏の飼養状況

	成 鶏			中 大 す う	幼 す う
導入月日	8 3.1.2 8	8 3.3 2 2	8 3 7.1 5	8 3 1 0 2 1	
羽 数	1,5 0 0	1,5 0 0	2,3 0 0	1,7 0 0	
現在羽数					
品 種	シェーパー	シェーパー	シェーパー	シェーパー	

3. 入すう計画 2月 1,500羽 ワーレン 月 羽

4. 鶏舎の規模

成 鶏 舎		中 大 す う 舎	育 す う 舎
7 × 50	×	×	7 × 65 (10.21) ×
7 × 50	×	×	×
7 × 60	×	×	×
7 × 30	×	×	×
×	×	×	×

5. 点 灯 ある なし 時間 04:00~20:00 但し中ひな舎を除く。

6. ワクチネーション, 及びメディケーションプログラム

ワクチン	日 令	疾 病	投 薬
鶏 痘	3ヶ月令前後	コクシ	30日令に発生するので、3週間おきに1週間やる
ニューカッスル	初産までに3回、あと3ヶ月毎		飼料中にアンプロールプラスをいれる。
鶏チフス	115日令		
アデノ	115日令		

7. ネズミの発生状況
いる。

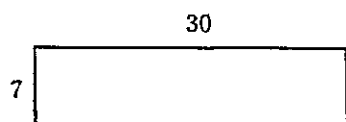
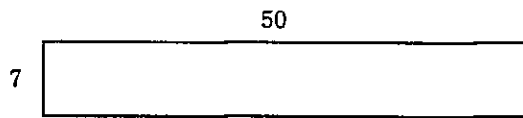
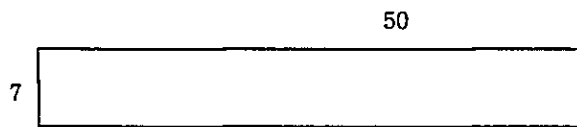
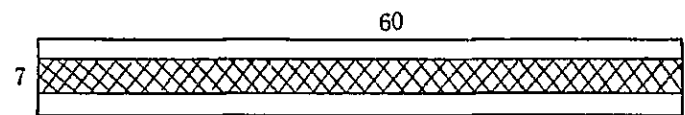
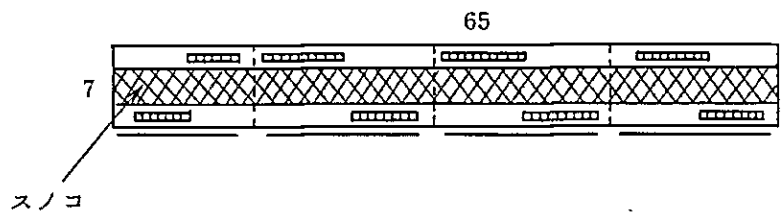
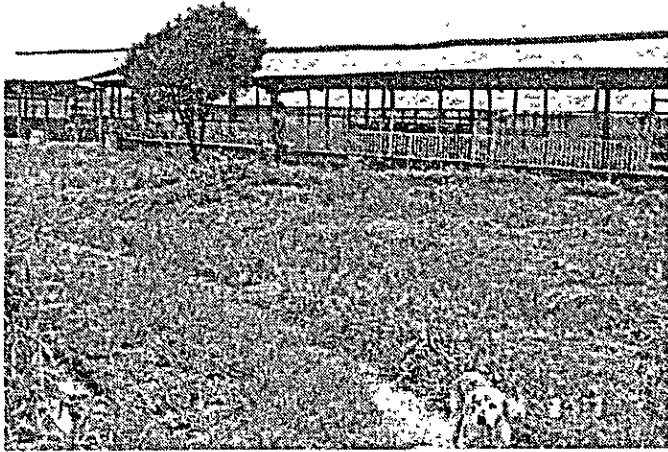
8. 産卵状況 初産日令(年月) 最高産卵率(%) 現在(%)
93 60~70
通常130日令, おそくて140日令, 3月のひなはどうしてもピークがあがらず80%

9. 検査成績

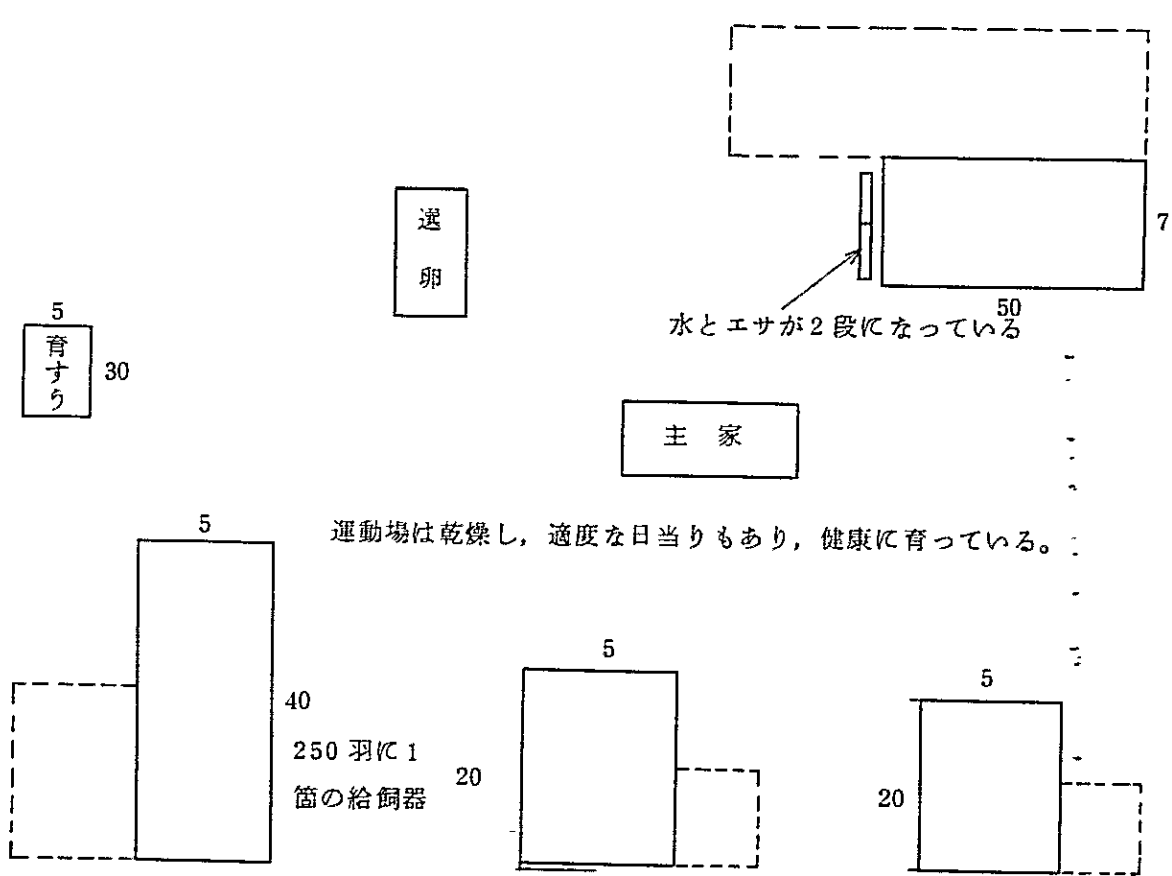
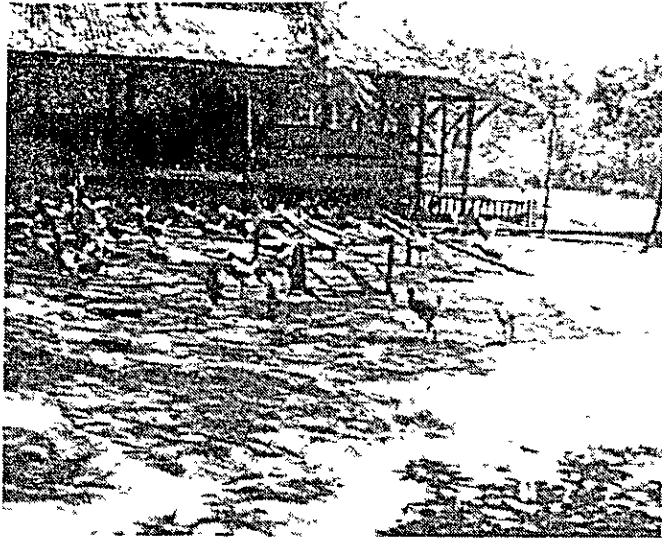
	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月
S P	— 1.2 8	— 3.2 2	— 7/1 5	— 1.0.2 1	—
M G	+	+	+	-	
M S	-	-	-	-	

10. 概 要

鶏チフスのワクチンの効果は半年はもつといっている。
鶏アデノは1昨年に発生, すぐ出荷, 3ヶ月令と3ヶ月後にワクチン
8 3.3.2 2 は発生日から1週間おくれて到着, 2 8 0 羽死亡, 今もよくない。
8 3.7.1 5 は育すう舎がむれて死亡が多い。MDの発生が多く(初産後にはじめる)。毎日5~6羽死亡。
8 3.1 0 2 1 は200日令になってMDがではじめた。



主 家



養 鶏 衛 生 調 査

養鶏家 永 瀬 利 夫

1. 経営形態

事業	牛	豚	その他	米	大豆	マイス	果樹	その他	その他の職業	管 理 者	
	75			15 ha			15 ha			家族	現地人
										3	2

2. 鶏の飼養状況

	成 鶏					幼 ず う
導 入 月 日	8 2.1 2 1 6	8 3 3.4	8 3.5.2 7	8 3 8.1 2	8 3 1 0 1 7	8 3 1 2 1 3
羽 数	2,000	1,700	1,500	1,200	2,000	1,700
現 在 羽 数	1,000	1,000	1,400	1,100	1,900	1,650
品 種	ハーコー	シェーパー	シェーパー	シェーパー		シェーパー

3. 入すう計画

3月

1,700羽

5月

1,700羽

4. 鶏舎の規模

	成 鶏 舎		中 大 ず う 舎	育 ず う 舎
7 × 50	5 × 40	×	×	5 × 20
7 × 50	5 × 40	×	×	×
7 × 50	5 × 30	×	×	×
7 × 40	6 × 40	×	×	×
7 × 40	×	×	×	×

5. 点 灯

あり なし

時間 03:30~20:00

6. ワクチネーション、及びメディケーションプログラム

ワ ク チ ン	日 令	疾 病	投 薬
鶏 痘	2ヶ月令	コクシ	2週令時にアグリボン投与
ニューカッスル	70, その後4ヶ月毎	栄 養	
鶏 チ フ ス	120 5/27, 8/12のもののみ		ロビゾール, テトラゾール
ア デ ノ	すべてのとりにやった		

7. ネズミの発生状況

8. 産 卵 状 況

初産日令(年月)

最高産卵率(%)

現 在 (%)

130~140

92~95

80

乾期のものは早い

85%シェーパー

9. 検 査 成 績

S P	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月
	— 83.3.4	— 83.5.27	— 83.8.12	— 83.10.17	—
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—
M G	—	—	—	—	—
M S	—	—	—	—	—

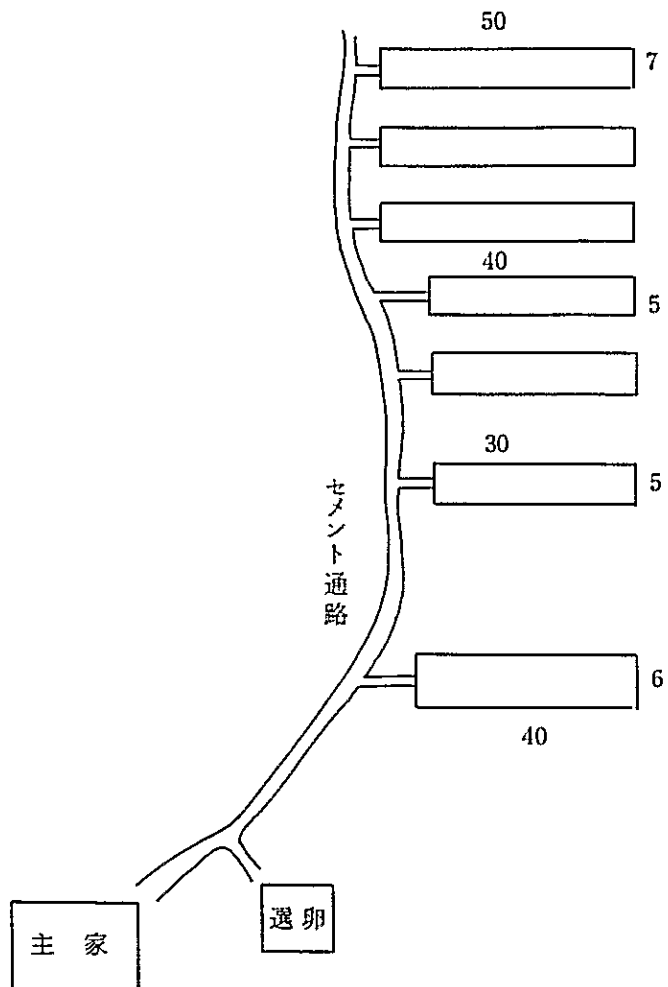
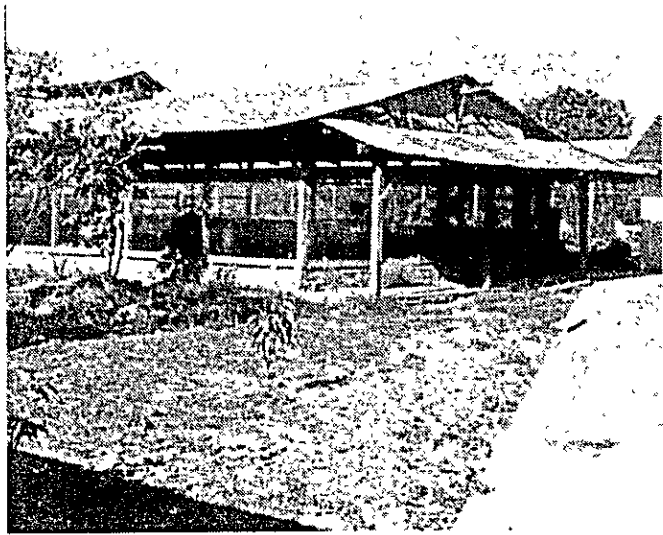
10. 概 要

夫婦と現地人(夫婦)で管理

1,0,000羽養鶏を考えている。最近は飼料高のため少しへらした。

アデノウイルス症候群は3年前、ワーレンがかかりブラジルに血清をもってゆき、診断した。20%まで産卵がおちた。(軟卵, 卵が白くなった)1ヶ月で回復した。

Coxiは2週間目にやらないと駄目、そして70日令に再発の危険性あり、初産前に更に1回やる(3ヶ月令のころ)



養 鶏 衛 生 調 査

養鶏家 加藤重則

1. 経営形態

事業	牛	豚	その他	米	大豆	マイス	果樹	その他	その他の職業	管 理 者	
										家族	現地人
										2	0

2. 鶏の飼養状況

	成 鶏			中 大 す う	幼 す う
導入月日	8 2.9	8 2.11	8 3.4		8 4.1.3
羽 数	2,000	2,400	2,400		2,000
現在羽数	1,500	1,600	2,200		1,950
品 種	ワーレン	ワーレン	ワーレン	ワーレン	ワーレン

3. 入すう計画

月 未定 羽 月 羽

4. 鶏舎の規模

成 鶏 舎		中 大 す う 舎	育 す う 舎
7.5 × 5.8	8 2.9 ×	×	7.5 × 2.1
8 × 6.0	8 2.11 ×	×	×
8.5 × 6.1	8 3.4 ×	×	×
×	×	×	×
×	×	×	×

5. 点 灯 有る なし 時間

6. ワクチネーション, 及びメディケーションプログラム

ワクチン	日 令	疾 病	投 薬
鶏 痘	3ヶ月(雨期のときは1ヶ月)	Coxi	以前はアグリボン, 今はダイメトン(20日令3日間, 70日令3日間)
ニューカッスル	組合の指示通り 7.30あと3ヶ月毎		
鶏チフス	45ヶ月令	栄養剤	ロビゾール ランメ 1週間3日
アデノ	" (834に注射)		

7. ネズミの発生状況

1 昨年は大発生をみたが, 現在はたまにみかける。

8. 産卵状況

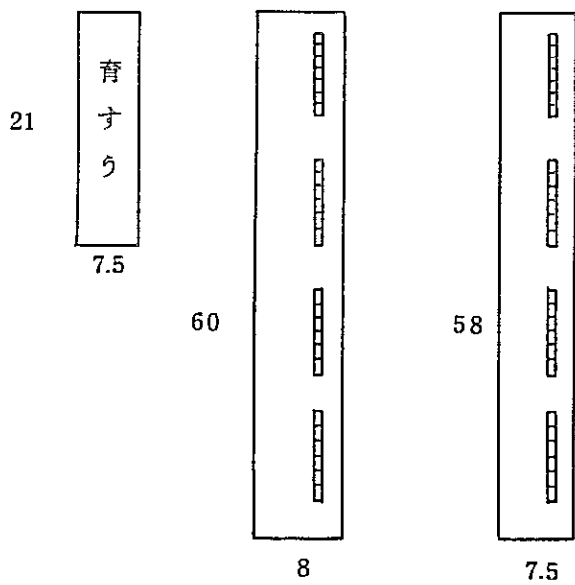
初産日令(年月)	最高産卵率(%)	現 在 (%)
8 2.9 5.5ヶ月	75	60
8 2.11 6.5ヶ月	91	76
8 3.4 4.5ヶ月	93	85

9. 検査成績

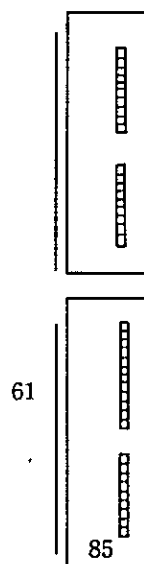
S P	+	—	—	—	—
	導入年月	導入年月	導入年月	導入年月	導入年月
	+	—	—	—	—
	+	—	—	—	—
	+	—	—	—	—
	+	—	—	—	—
M G	—	—	—	—	—
M S	—	—	—	—	—

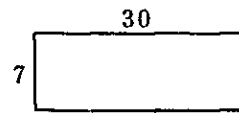
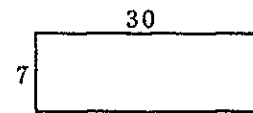
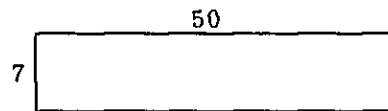
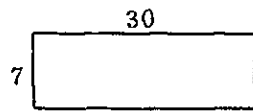
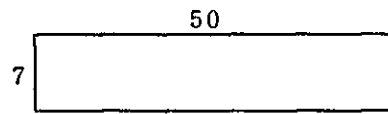
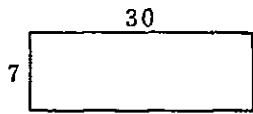
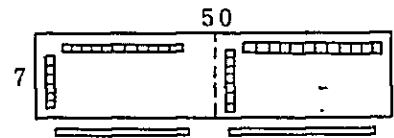
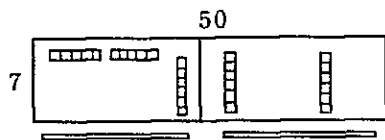
10. 概 要 ※最後の鶏チフスワクチネーションから3週間目

養鶏専業, 夫婦2人現地人2人で経営
 ホトイは1日4回水洗いしている。
 アデノウイルスにより産卵開始後5ヶ月たって産卵30%低下した群あり, ロビゾール3日, 2回やった。
 鶏舎消毒にはアイオサンを使う
 8.2.9 CRDにかかりトサカがのびず緑便あり, 4回にわけて全部淘汰(果してCRDが不明)
 8.2.11 CRDはかるくすんだ。鶏チフスとアデノは混合注射 (")
 8.3.4 Tiamulin を使用(3~5, 28~29, 160日令)



水トイは1日4回洗っている





養鶏衛生調査

養鶏家 西沢 静雄

1 経営形態

事業	牛	豚	その他	米	大豆	マيس	果樹	その他	その他の職業	管理者	
										家族	現地人
										4	2

2. 鶏の飼養状況

	成 鶏				中 大 ず う			幼 ず う
	821024	83129	8344	83524	831021	831129	831215	831220
導入月日	821024	83129	8344	83524	831021	831129	831215	831220
羽 数	2,400	2,600	1,700	2,100	2,300	1,700	1,800	700
現在羽数	1,000	1,200	1,200	1,400	2,100	1,500	1,700	650
品 種	コメット	ワーレン	シェーパー	シェーパー	シェーパー	ハーコー	ハーコー	ハーコー

3. 入すう計画

月 羽 月 羽

4. 鶏舎の規模

成 鶏 舎			中 大 ず う 舎	育 ず う 舎
7 × 50	7.5 × 50	×	×	7 × 28
6 × 50	7.5 × 50	×	×	7 × 28
5 × 50	7.5 × 50	×	×	×
6 × 50	×	×	×	×
7.5 × 40	×	×	×	×

5. 点 灯 あり なし 時間 04:00~20:00
 6. ワクチネーション、及びメディケーションプログラム ネズミ防止のため40Wを2週間つける。

ワクチン	日 令	疾 病	投 薬
鶏 痘	30日頃	鶏チフス	カナマイシン
ニューカッスル	ひなのときやらず, 3ヶ月毎		
鶏チフス	産卵開始后1回	コクシ	中ひなまでの間, アグリボン投与
アデノ	×		

7. ネズミの発生状況

8. 産卵状況 初産日令(年月) 最高産卵率(%) 現在(%)
- | | | | |
|-------|-------------|----|----------------|
| 10.24 | よくうんでくれた | 93 | 60~65 |
| 1.29 | | 93 | 65 |
| 4.4 | 呼吸器病にかかりピーク | 85 | 70 を出さず(11ヶ月令) |

9 検査成績

	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月
S P	— 1.27	— 44	— 524	— 1021	— 1129
M G	3/5	—	—	—	—
M S	5/5	2/5	—	—	—

10. 概 要

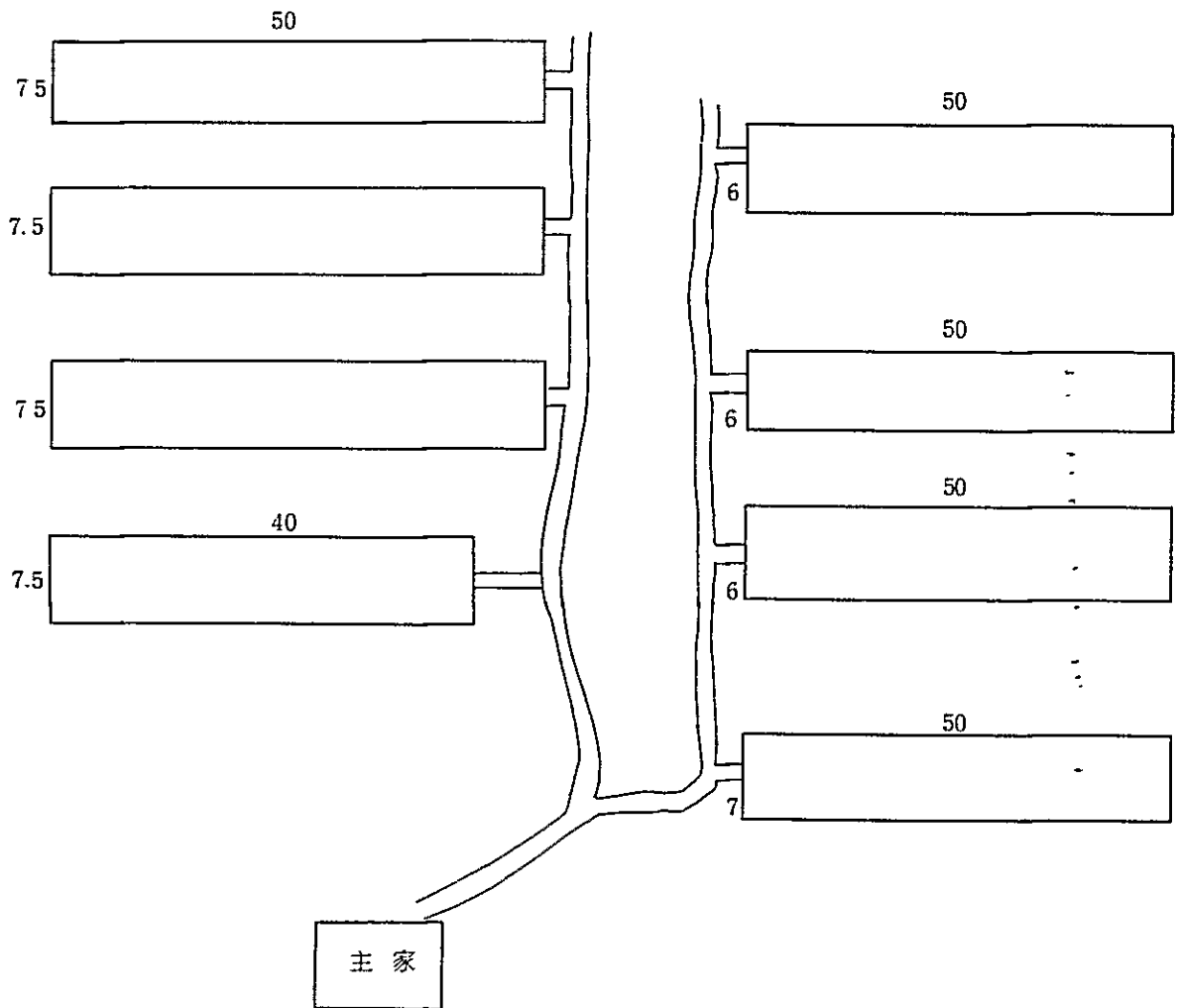
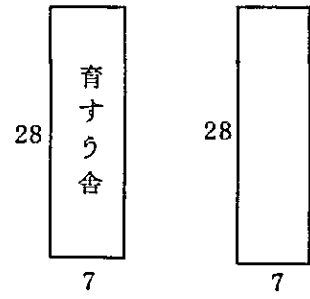
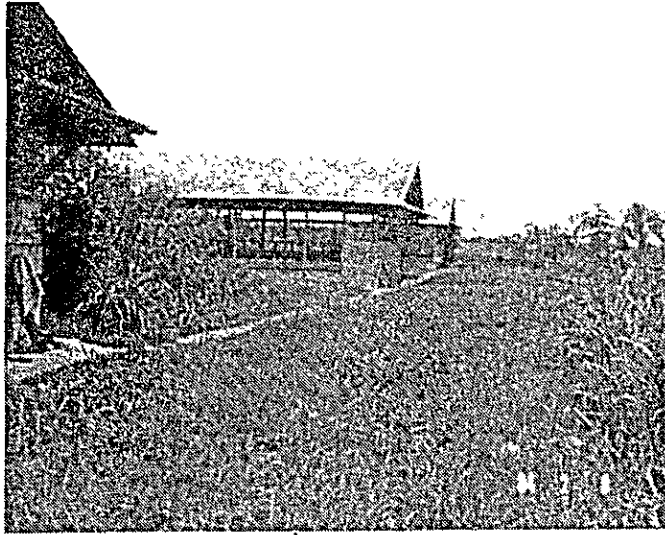
組合長の兄様で養鶏専門、われわれの調査に最初はのって来なかったが、検査をはじめてから次々と鶏群がでて来た。當農調査のときも同じ態度だった由。

鶏痘はワクチンをやってもかかる。

鶏チフスらしいものは、昨年のはじめに2羽3羽と死んだ。カナマイシン注でなおした。

83129のひなは中ひなから初産の頃までにMDで多数羽が死亡。200日令がひどく脚弱でだらだら死んで行った。

Coxiは20~30日と2ヶ月令に出る。2100羽のうち500羽死んだ。



養 鶏 衛 生 調 査

養鶏家 佐久間 正 三

1. 経営形態

事業	牛	豚	その他	米	大豆	マリス	果樹	その他	その他の職業	管 理 者	
										家 族	現 地 人
										2	0

2. 鶏の飼養状況

	成 鶏		中 大 す う	幼 す う
導入月日	8 3 3			
羽 数	1,000			
現在羽数	900			
品 種	シェーパー			

3. 入すう計画

2~3月 1,000羽 ウーレン 月 羽
組合のはおそすぎるから

4. 鶏舎の規模

運動場つき

成 鶏 舎			中 大 す う 舎	育 す う 舎
6 × 50	×	×	×	×
4 × 70	×	×	×	×
×	×	×	×	×
×	×	×	×	×
×	×	×	×	×

5. 点 灯

ある (有) 時間

6. ワクチネーション、及びメデイケーションプログラム

ワ ク チ ン	日 令	疾 病	投 薬
鶏 痘	40日	コクシ	ひなの時発生、アグリボン投与
ニューカッスル	120日令、あと3ヶ月毎に		
鶏チフス	初産前		
ア デ ノ	"		

7. ネズミの発生状況

いることはいるが、気にかからない。

8. 産 卵 状 況

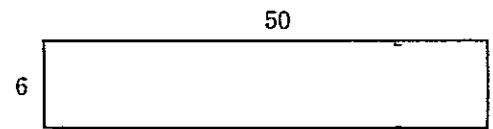
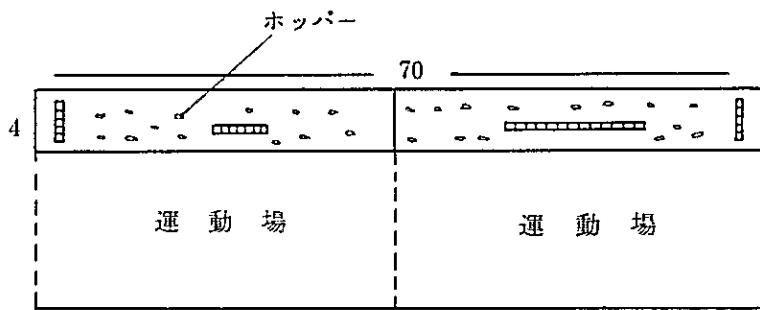
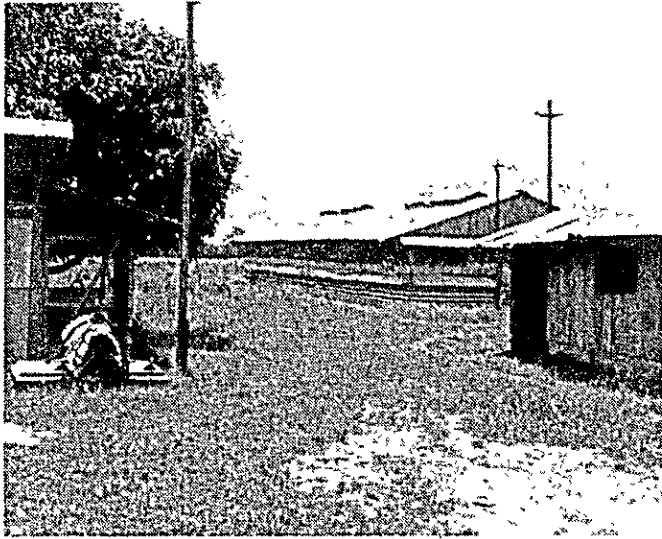
初産日令(年月) 最高産卵率(%) 現 在 (%)
111 92~93 85 (11ヶ月)

9. 検 査 成 績

	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月	— 導入年月
S P	— — 8 3 . 3 — —	— — — — —	— — — — —	— — — — —	— — — — —
M G	—				
M S	—				

10. 概 要

老夫婦で養鶏のみ、将来は2,000羽までもってゆきたいとのこと。
育すう舎は消滅し、鶏糞は外につみあげてあり、鶏舎内に新しい砂をいれていた。なお、外にはモミガラがありビニールでおおいをしてあった。



育すう準備中で鶏糞を出し，舎内に砂をいれて
いた。

外にはモミガラがおいてあった。



養 鶏 衛 生 調 査

養鶏家 西 沢 勇

1. 経営形態

事業	牛	豚	その他	米	大豆	マيس	果樹	その他	その他の職業	管 理 者	
				50 ha					農協 飼料工場長	家族	現地人
										1	1

2. 鶏の飼養状況

	成 鶏		中 大 ず う	幼 ず う
導 入 月 日	8 2 1 2	8 3 4	8 3 1 2 1 3	
羽 数	1,200	1,500	1,500	ha
現 在 羽 数	1,000	600	1,450	
品 種	コメット	ワーレン	ハーコー	

3. 入すう計画

4月 1,500羽 シェーバー 月 羽

4. 鶏舎の規模

成 鶏 舎	中 大 ず う 舎	育 ず う 舎
5 × 40 ×	×	×
5 × 40 ×	×	×
7.5 × 50 ×	×	×
7.5 × 50 ×	×	×
× ×	×	×

5. 点 灯

(ある) なし 時間 04:00~20:00

6. ワクチネーション, 及びメディケーションプログラム

ワ ク チ ン	日 令	疾 病	投 薬
鶏 痘	40, 又は産卵開始前	コクシ	週令時にアグリボーン又はアンブロールを投与
ニューカッスル	8, その後、 [※] 2週間おき3回	MD	834のものは600羽になった。
鶏チフス	90日, 2ヶ月後...6ヶ月分		
アデノ	110~120日		

7. ネズミの発生状況

※このあと3ヶ月毎(82.12のひなは83.10に3回目のワクチンを終了)

少なくともなかったが、いることはいる。

8. 産卵状況

初産日令(年月)	最高産卵率(%)	現 在 (%)
8 2 1 2 1 3 2	アデノウイルスのためのびず80%	6
8 3 4 1 2 0	初産後1ヶ月半位で80%でとまる。	60
	初産後ピークがあがらずそのうち脚マヒが出た。	60

9. 検査成績

	— 導 入 年 月	— 導 入 年 月	— 導 入 年 月	— 導 入 年 月	— 導 入 年 月
S P	— 8 2 1 2	— 8 3 4	— 8 3 1 2	—	—
M G	+	+	+		
M S	+	+	+		

10. 概 要

主人は飼料工場長, 奥様と現地人で運営。
 将来は5,000羽にもってゆきたい。
 Coxiiはアグリボーン又はアンブロールを使っているが, アンブロールはきかない。投薬は4週毎に産卵開始まで行い。
 MD……834のひなはCoxiiにもかかわらず調子がよかったが, 産卵開始後脚麻痺がでて今もトサカのものが多い。この1~2ヶ月おちついて来る。
 アデノウイルス……この3年間に入って来た。
 82.12の鶏には834と8310に, 834の後には837と839に鶏チフスワクチンを投与。